
太田市都市計画マスタープラン

資料編

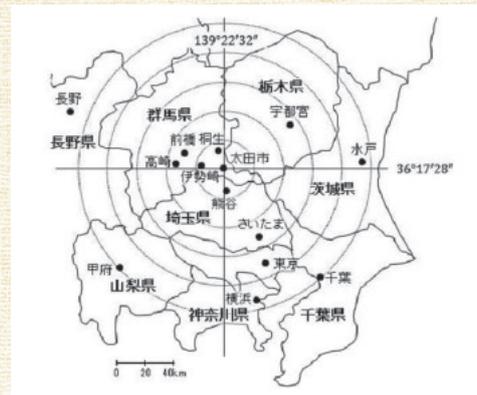
太田市の現況

1 広域的位置づけ・特徴

本市は関東平野の北部、群馬県南東部に位置し、南に利根川、北に渡良瀬川と、二本の豊かな水量を誇る河川に挟まれ、丘陵の自然環境に恵まれているとともに、貴重な歴史を記録し伝統文化が継承されている地域です。

本市は全国的に見ても高度かつ多様な産業集積を誇る北関東有数の工業都市であり、高いポテンシャルを有している拠点都市といえます。

平成17年3月28日に太田市、尾島町、新田町、藪塚本町の1市3町が対等合併し、現在の太田市が誕生しました。人口約22万人の拠点都市であり、東毛地域の中核として中心的役割を担っています。



2 自然条件・歴史的資産

本市には、市街地北部に緑豊かな金山や八王子丘陵があり、水系では南に利根川、北に渡良瀬川の清流もあります。市西部には、大間々扇状地があり、そこに降る雨水が多数の湧水池となって現れているほか、市北西部には河川がなく、江戸時代につくられた岡登用水が貴重な水辺空間として残っています。

気候は比較的温暖で、平均気温は13℃～15℃となっており、四季を通じて晴天に恵まれています。また夏期は気温が高く、特に梅雨明けから秋分の日頃までは、30℃を越える蒸し暑い日が続きます。

本市の歴史は古く、古代においては東山道駅路が通り、江戸時代には日光例幣使道や銅街道等の歴史的な道筋が存在しています。市域には国指定史跡である天神山古墳や女体山古墳など数多くの古墳が点在しています。このほか、新田荘遺跡、金山城跡などをはじめ多くの指定文化財が存在しています。

3 人口動態・世帯構造

(1) 人口の推移

本市の人口は、平成27年の国勢調査で219,807人になっており、前回調査(平成22年)と比較して3,342人増加しています。これは群馬県の人口増加市町のなかで、増加が最も多かったこととなります。

群馬県内では高崎市、前橋市に次ぐ県内3位の人口になっています。

表：人口の推移



(資料：国勢調査)

(2) 世帯及び世帯人員の推移

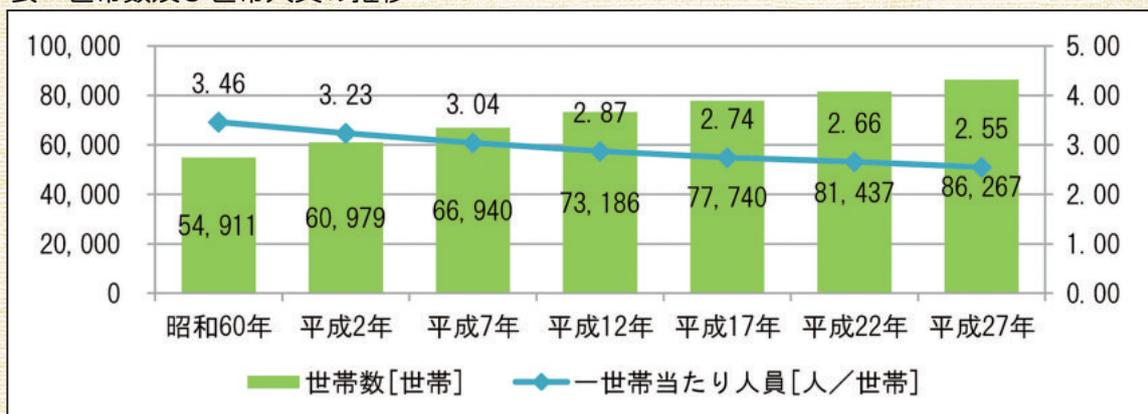
平成27年の国勢調査では本市の世帯数は86,267世帯で、前回調査(平成22年)と比較して4,830世帯増加しています。これは人口と同様に群馬県の世帯数増加市町のなかで、増加が最も多かったこととなります。

本市の1世帯あたりの人数は、昭和60年は3.46人でしたが、平成12年は2.87人と3人を割り込み、平成27年は2.55人まで減少しています。

本市においても、核家族化の進行、単身世帯の増加などの要因によって、世帯数は人口の伸び以上に増加すると予測されます。

今後も核家族化による高齢者のひとり暮らし世帯の増加が予測されます。

表：世帯数及び世帯人員の推移



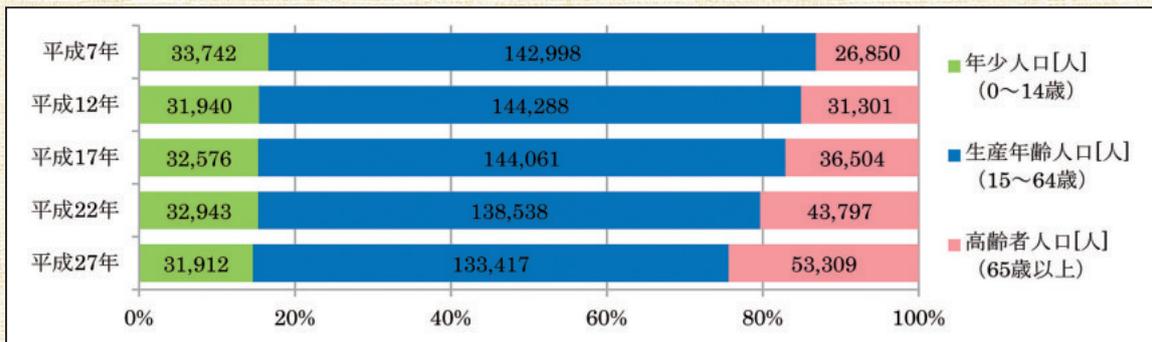
(資料：国勢調査)

(3) 年齢3区分別人口の推移

平成27年の本市の年齢別人口構成は、年少人口(0～14歳)が31,912人(14.6%)、生産年齢人口(15～64歳)が133,417人(61.0%)、高齢者人口(65歳以上)が53,309人(24.4%)、年齢不詳が1,169人です。

平成7年に比べ、生産年齢人口の割合が低下しており、高齢者人口が上昇しています。今後も長寿化の進展や団塊世代の高齢化により、この傾向は続くと予測されます。

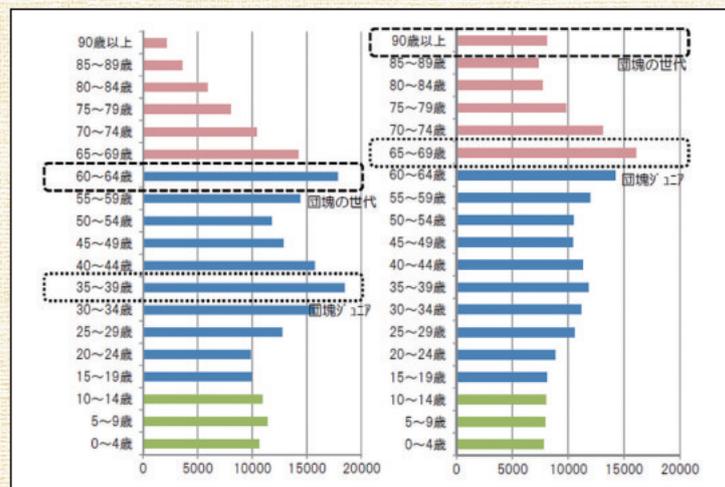
表：年齢3区分別人口の推移



※年齢不詳を除く

表：年齢別人口ピラミッド

(左：2010年国勢調査、右：2040年国立社会保障・人口問題研究所推計)



| | 2010 (平成22年) | 2040 (平成52年) | 増減 |
|------------------|-----------------|-----------------|----------|
| 高齢者人口(65歳以上) | 43,797人(20.3%) | 61,942人(31.9%) | +18,145人 |
| 生産年齢人口(15～64歳以上) | 138,538人(64.4%) | 108,467人(55.9%) | -30,071人 |
| 年少人口(0～14歳以上) | 32,943人(15.3%) | 23,595人(12.2%) | -9,348人 |

(資料：国勢調査、太田市人口ビジョン・総合戦略)

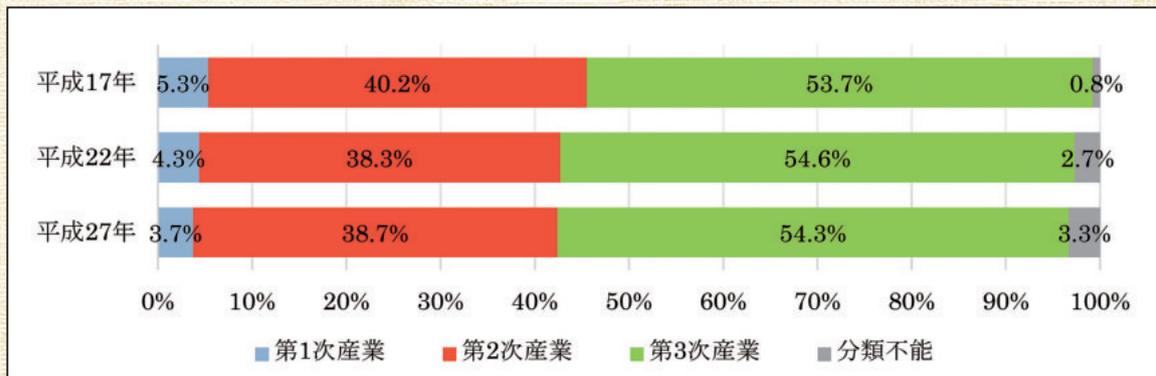
4 産業構造

(1) 産業3区分別の動向

平成27年国勢調査の結果では、第1次産業の従事者数の構成割合が3.7%、第2次産業では38.7%、第3次産業では54.3%となっています。第2次産業の構成割合が他市に比較して高く(県平均30.8%)、工業の街としての特性を示しています。

第1次産業の構成割合は平成17年の5.3%に比べると減少傾向にあります。一方、第2次産業と第3次産業の構成割合は大きな変化は見られません。

表：産業3分類別従業者割合

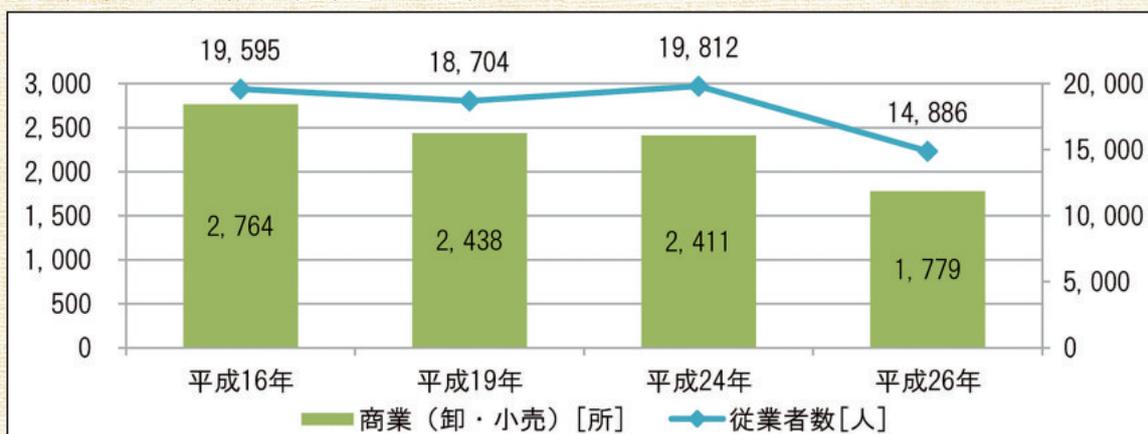


(資料：国勢調査)

(2) 商業の動向

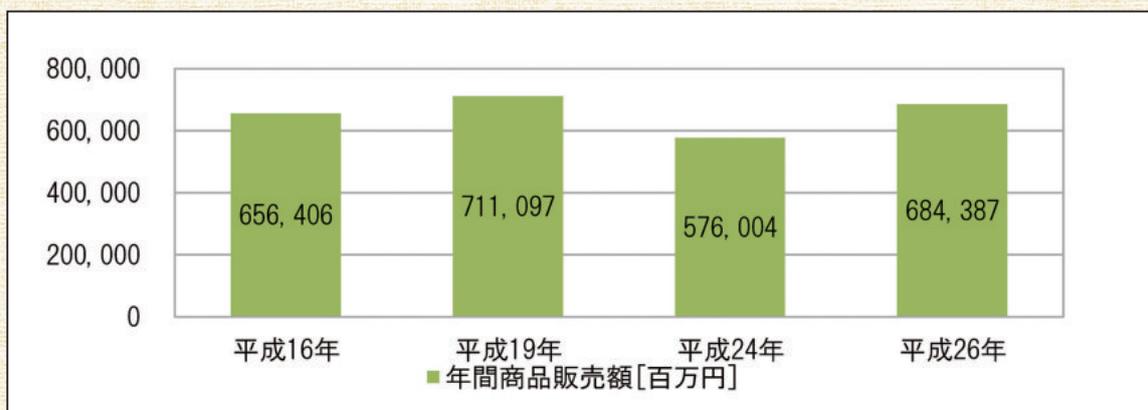
本市の商業における事業所数および従業者数は、平成24年から平成26年にかけて減少しました。しかし、年間商品販売額および一人当たりの年間商品販売額は平成24年から大きく増加しています。

表：商業の事業所数と従業者数の推移



(資料：商業統計調査、経済センサス)

表：年間商品販売額の推移



(資料：商業統計調査、経済センサス)

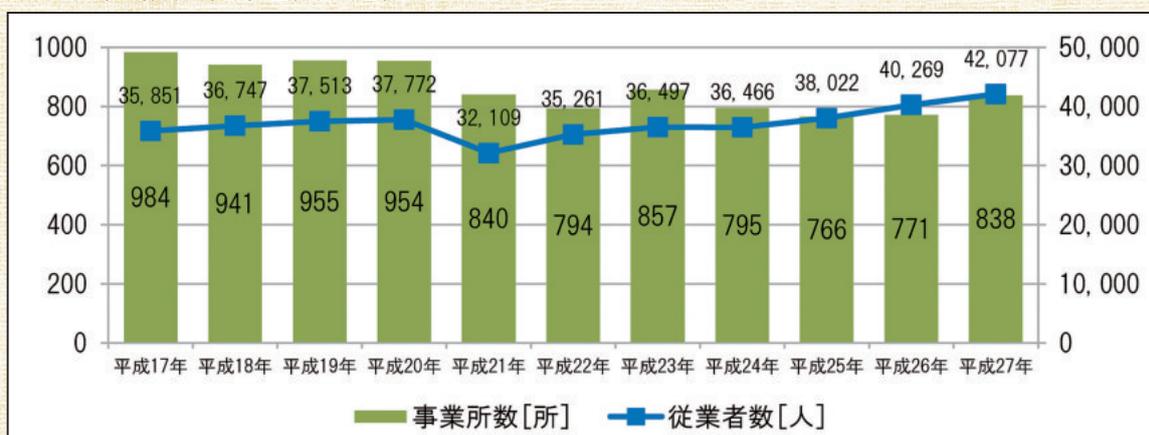
(3) 工業・流通の動向

本市は、内陸の工業都市として技術基盤の充実に成果を上げながら、現在、輸送機器を中心とした県内随一、北関東においても屈指の工業集積を有し発展してきました。そのため、工業団地の建設も進んでおり、28箇所、827.9ヘクタール(太田大泉工業団地の大泉町分、境北部工業団地の伊勢崎市分を除く。)が建設されています。

その中で、本市の工業における事業所数、従業者数、出荷額、一人当たり出荷額は平成21年に減少しましたが、平成22年以降には増加に転じており、平成26には従業者数、出荷額、一人当たり出荷額において過去10年間で最高値となっています。

平成27年の市町村別製造品出荷額等において、本市は2兆8,837億円(県内構成比31.9%)で、全国市区町村別順位で12位(北関東では1位)となっています。

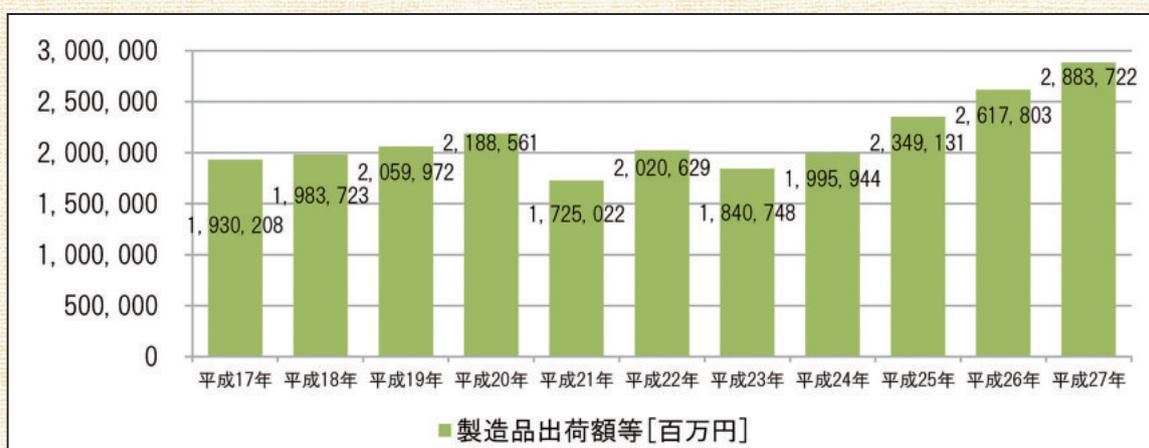
表：事業所数と従業者数の推移



※従業員4人以上の事務所を集計

(資料：工業統計調査・経済センサス)

表：製造品出荷額等の推移



※従業員4人以上の事務所を集計

(資料：工業統計調査・経済センサス)

表：工業団地造成事業（平成 24 年 10 月 1 日現在）

| 番号 | 名称 | 施行主体 | 面積 (ha) | 都市計画決定 | 事業認可 | 施行年度 |
|----|-------|------|--------------|-----------|----------|---------|
| 1 | 太田西部 | 群馬県 | 83.3 | S47.5.19 | S47.5.26 | S46～S47 |
| 2 | 太田東部 | 群馬県 | 75.7 | S50.7.29 | S50.12.8 | S49～S51 |
| 3 | 太田・大泉 | 群馬県 | 26.1(39.7) | S61.11.14 | S61.12.1 | S61～S62 |
| 合計 | | 3 | 185.1(198.7) | | | |

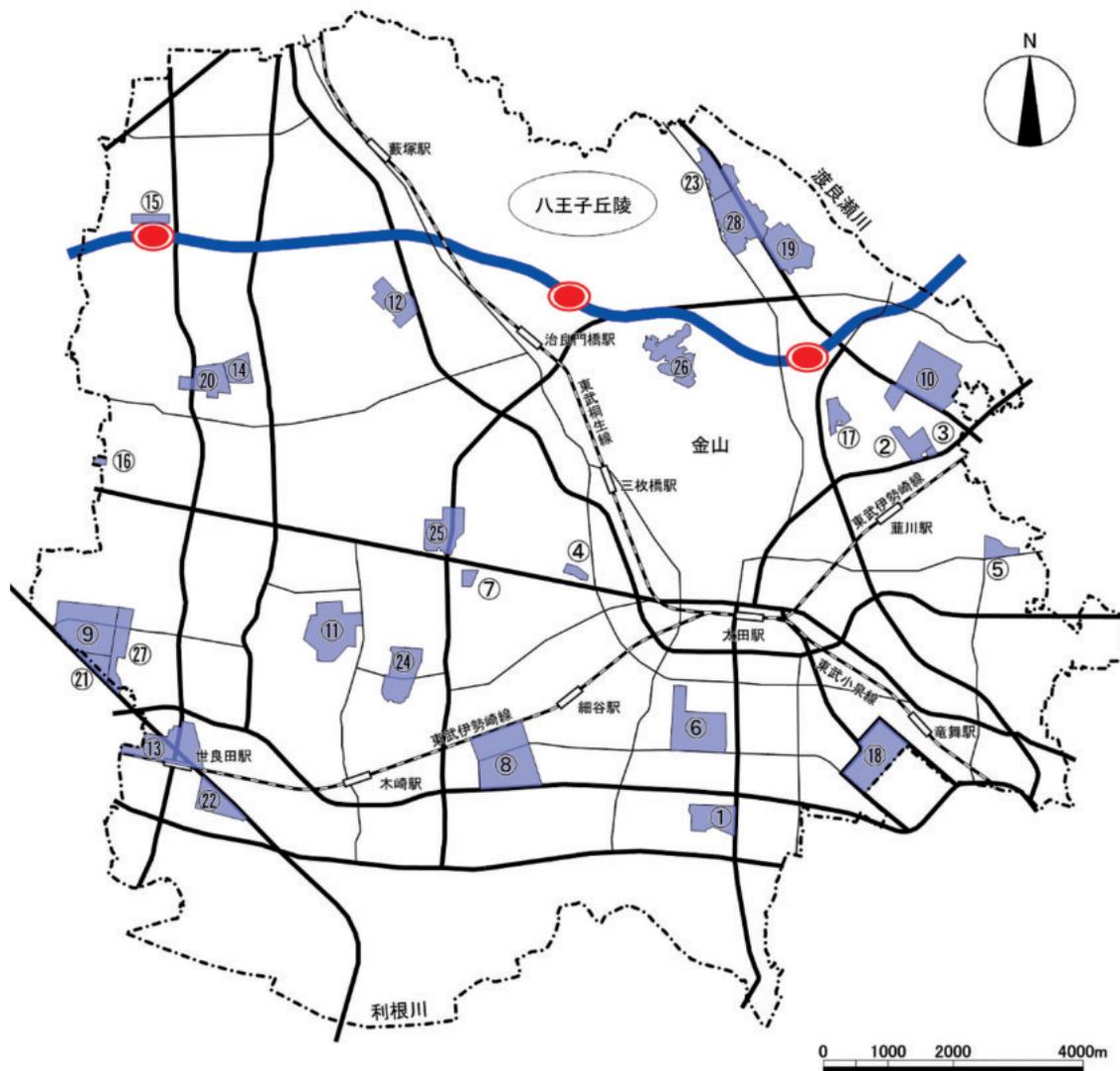
※面積欄の（ ）内数字は、他市町村にまたがる場合の総面積を表しています。
（資料：太田市資料）

表：工業団地一覧（平成 30 年 2 月 27 日現在）

| 番号 | 団地名 | 造成年度 | 面積 (ha) | 施行者 | 備考 |
|----|-------------|---------|---------|--------------|----------|
| 1 | 西矢島工業団地 | S36 | 13.4 | 太田市 | |
| 2 | 矢場川第一工業団地 | S38～S39 | 9.4 | 群馬県 | 土地区画整理事業 |
| | 矢場川第二工業団地 | S39～S40 | 10.4 | | |
| 3 | 植木野工業団地 | S38～S39 | 0.3 | 太田市 | |
| 4 | 新野工業団地 | S39～S40 | 4.8 | 太田市 | |
| 5 | 矢場工業団地 | S39～S40 | 9.8 | 太田市 | |
| 6 | 太田工業団地 | S41～S42 | 56.3 | 群馬県 | 土地区画整理事業 |
| 7 | 別所工業団地 | S43 | 4.7 | 太田市 | |
| 8 | 太田西部工業団地 | S46～S47 | 83.3 | 群馬県 | |
| 9 | 新田西部工業団地 | S47～S48 | 61.8 | 群馬県 | 土地区画整理事業 |
| 10 | 太田東部工業団地 | S49～S51 | 75.7 | 群馬県 | |
| 11 | 新田中部地区工業団地 | S56 | 75.0 | 民間開発 | |
| 12 | 市野倉地区工業団地 | S56 | 23.0 | 民間開発 | |
| 13 | 尾島工業団地 | S59～S62 | 46.2 | 群馬県 | 土地区画整理事業 |
| 14 | 新田北部工業団地 | S60 | 14.7 | 群馬県 | |
| 15 | 藪塚工業団地 | S61 | 5.3 | 群馬県 | |
| 16 | 境北部工業団地 | S61～S62 | 2.6 | ※1(37.0) 群馬県 | |
| 17 | 東金井工業団地 | S61～S62 | 10.8 | 群馬県 | |
| 18 | 太田大泉工業団地 | S61～S62 | 26.1 | ※2(39.7) 群馬県 | |
| 19 | 太田流通団地 | S63～S64 | 31.2 | 群馬県 | |
| 20 | 新田北部第二工業団地 | S63～H1 | 26.2 | 群馬県 | |
| 21 | 新田西部第二工業団地 | H1～H2 | 5.5 | 群馬県 | |
| 22 | 尾島第二工業団地 | H3～H5 | 25.0 | 群馬県 | |
| 23 | 太田リサーチパーク | H4～H11 | 20.0 | 群馬県 | |
| 24 | 太田沖野上田島工業団地 | H7～H8 | 35.2 | 群馬県 | |
| 25 | 新田東部工業団地 | H8～H9 | 31.5 | 群馬県 | |
| 26 | 太田さくら工業団地 | H21～H22 | 41.2 | 太田市 | |
| 27 | 新田西部第三工業団地 | H23～28 | 25.6 | 太田市 | |
| 28 | おた渡良瀬産業団地 | H29～ | 52.9 | 太田市 | |
| 合計 | | | 827.9 | (875.9) | |

面積は太田市分で、（ ）内は工業団地全体の面積を表しています。
※1 37.0ヘクタールには、伊勢崎市分 34.4ヘクタールが含まれます。
※2 39.7ヘクタールには、大泉町分 13.6ヘクタールが含まれます。
（資料：太田市資料）

図：工業団地位置図



凡 例
基 本

- 高速道路
- インターチェンジ
- 鉄道
- 主要幹線道路 (計画・構想を含む)
- 幹線道路 (計画・構想を含む)

工業団地

- 工業団地

5 土地利用

本市には太田都市計画区域と藪塚都市計画区域の二つの都市計画区域が存在しています。藪塚都市計画区域は非線引き都市計画区域ですが、平成20年4月に住環境保全のため、特定用途制限地域の指定を行っています。

地目別の土地面積では、平成24年から主に田・畑・山林が減少、宅地・雑種地が増加の傾向にあり、農地の宅地化が進行していることがわかります。

表：市街化区域・市街化調整区域等の面積及び区域内人口の変遷

| | 平成22年度 | | | | | 平成27年度 | | | | |
|--------------------------|------------|-----------|-----------|-----------|----------------|------------|-----------|-----------|-----------|----------------|
| | 面積 (ha) | 比率 (%) | 人口 (人) | 比率 (%) | 人口密度 (人/ha) | 面積 (ha) | 比率 (%) | 人口 (人) | 比率 (%) | 人口密度 (人/ha) |
| 太田市 全域 | 17,565 | 100.0 | 216,465 | 100.0 | 12.32 | 17,554 | 100.0 | 219,807 | 100.0 | 12.52 |
| うち太田 都市計画区域 | 15,468 | 88.1 | 196,062 | 90.6 | 12.68 | 15,457 | 88.1 | 198,637 | 90.4 | 12.85 |
| うち 市街化区域 | 4,317 | 24.6 | 130,308 | 60.2 | 30.18 | 4,379 | 24.9 | 130,161 | 59.2 | 29.72 |
| うち市街化 調整区域 | 11,151 | 63.5 | 65,754 | 30.4 | 5.90 | 11,078 | 63.1 | 68,476 | 31.2 | 6.18 |
| うち藪塚 都市計画区域 (非線引き) | 2,097 | 11.9 | 20,403 | 9.4 | 9.73 | 2,097 | 11.9 | 21,170 | 9.6 | 10.10 |

(資料：都市計画基礎調査)

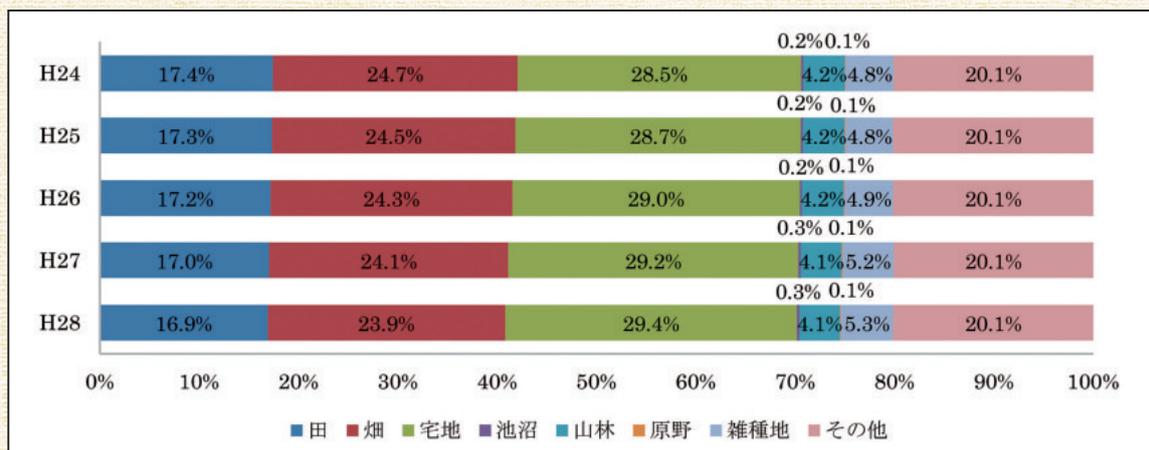
表：地目別土地面積

(単位:km²) ()は構成比

| 年 | 総数 | 田 | 畑 | 宅地 | 池沼 | 山林 | 原野 | 雑種地 | その他 |
|--------|---------|--------|--------|--------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 平成24年度 | 175.66 | 30.56 | 43.32 | 50.11 | 0.43 | 7.32 | 0.16 | 8.45 | 35.31 |
| | (100.0) | (17.4) | (24.7) | (28.5) | (0.2) | (4.2) | (0.1) | (4.8) | (20.1) |
| 平成25年度 | 175.66 | 30.39 | 43.08 | 50.49 | 0.43 | 7.31 | 0.16 | 8.47 | 35.33 |
| | (100.0) | (17.3) | (24.5) | (28.7) | (0.3) | (4.2) | (0.1) | (4.8) | (20.1) |
| 平成26年度 | 175.66 | 30.19 | 42.73 | 50.86 | 0.43 | 7.29 | 0.16 | 8.65 | 35.35 |
| | (100.0) | (17.2) | (24.3) | (28.9) | (0.2) | (4.2) | (0.1) | (4.9) | (20.2) |
| 平成27年度 | 175.54 | 29.92 | 42.27 | 51.25 | 0.45 | 7.20 | 0.16 | 9.06 | 35.23 |
| | (100.0) | (17.0) | (24.1) | (29.2) | (0.2) | (4.1) | (0.1) | (5.2) | (20.1) |
| 平成28年度 | 175.54 | 29.65 | 41.96 | 51.58 | 0.45 | 7.14 | 0.16 | 9.28 | 35.32 |
| | (100.0) | (16.9) | (23.9) | (29.4) | (0.2) | (4.1) | (0.1) | (5.3) | (20.1) |

(資料：固定資産の価格等の概要調査)

表：地目別土地面積割合



表：太田市都市計画区域の区域区分の変遷（平成29年1月31日現在）

| 決定・変更年月日 告示番号 | 面積(ha)※ | | | | 主たる決定・変更内容 |
|---------------------------|---------|-------|--------|--------|---|
| | 区分 | 市街化 | 調整 | 計 | |
| 昭和46年12月25日 群馬県告示第778号 | 旧太田市 | 3,220 | 6,532 | 9,752 | 当初線引き |
| | 旧尾島町 | 110 | 1,820 | 1,930 | |
| | 旧新田町 | 293 | 3,533 | 3,826 | |
| | 大泉町 | 1,220 | 621 | 1,841 | |
| | 計 | 4,843 | 12,506 | 17,349 | |
| 昭和52年8月31日 群馬県告示第658号 | 旧太田市 | 3,200 | 6,552 | 9,752 | 第1回線引き見直し (太田) 金山町、下小林、東長岡の各一部の市街化区域編入並びに東部工業団地、西部工業団地の一部の調整区域編入 (新田) 新田西部住宅団地(花香塚、上田中)の市街化区域編入 |
| | 旧尾島町 | 110 | 1,820 | 1,930 | |
| | 旧新田町 | 324 | 3,502 | 3,826 | |
| | 大泉町 | 1,220 | 621 | 1,841 | |
| | 計 | 4,854 | 12,495 | 17,349 | |
| 昭和60年5月31日 群馬県告示第403号 | 旧太田市 | 3,200 | 6,552 | 9,752 | 第2回線引き見直し (新田) 市野倉工業団地(市野倉)の市街化区域編入、新田中部工業団地(反町)の一部調整区域編入 (大泉) 古海、仙石の一部市街化区域編入 |
| | 旧尾島町 | 110 | 1,820 | 1,930 | |
| | 旧新田町 | 344 | 3,482 | 3,826 | |
| | 大泉町 | 1,249 | 592 | 1,841 | |
| | 計 | 4,903 | 12,446 | 17,349 | |
| 昭和62年5月1日 群馬県告示第271号 | 旧太田市 | 3,200 | 6,552 | 9,752 | 随時変更 (尾島) 尾島工業団地、今井土地区画整理事業地の市街化区域編入 |
| | 旧尾島町 | 195 | 1,735 | 1,930 | |
| | 旧新田町 | 344 | 3,482 | 3,826 | |
| | 大泉町 | 1,249 | 592 | 1,841 | |
| | 計 | 4,988 | 12,361 | 17,349 | |
| 平成元年8月15日 群馬県告示第699号 | 旧太田市 | 3,238 | 6,514 | 9,752 | 随時変更 (太田) 太田流通団地の市街化区域編入 (新田) 新田北部工業団地、境北部工業団地、下田中地区の市街化区域編入 |
| | 旧尾島町 | 195 | 1,735 | 1,930 | |
| | 旧新田町 | 396 | 3,430 | 3,826 | |
| | 大泉町 | 1,249 | 592 | 1,841 | |
| | 計 | 5,078 | 12,271 | 17,349 | |
| 平成3年2月28日 群馬県告示第159号 | 旧太田市 | 3,328 | 6,468 | 9,796 | 第3回線引き見直し (太田) 矢場新町、成塚、鳥山、宝泉南部の市街化区域編入 (尾島) 尾島第2工業団地、すずかけ団地の市街化区域編入 (新田) 木崎神明地区の市街化区域編入 |
| | 旧尾島町 | 227 | 1,707 | 1,934 | |
| | 旧新田町 | 402 | 3,420 | 3,822 | |
| | 大泉町 | 1,249 | 544 | 1,793 | |
| | 計 | 5,206 | 12,139 | 17,345 | |
| 平成6年7月1日 群馬県告示第417号 | 旧太田市 | 3,365 | 6,431 | 9,796 | 随時変更 (太田) 太田リサーチパーク、東長岡住宅団地、新田東部工業団地の市街化区域編入 (新田) 新田東部工業団地の市街化区域編入 |
| | 旧尾島町 | 227 | 1,707 | 1,934 | |
| | 旧新田町 | 422 | 3,400 | 3,822 | |
| | 大泉町 | 1,249 | 544 | 1,793 | |
| | 計 | 5,263 | 12,082 | 17,345 | |
| 平成7年8月1日 群馬県告示第481号 | 旧太田市 | 3,402 | 6,394 | 9,796 | 随時変更 (太田) 沖野上田島工業団地の市街化区域編入 (新田) 市野井反町地区の市街化区域編入 |
| | 旧尾島町 | 227 | 1,707 | 1,934 | |
| | 旧新田町 | 471 | 3,351 | 3,822 | |
| | 大泉町 | 1,249 | 544 | 1,793 | |
| | 計 | 5,349 | 11,996 | 17,345 | |
| 平成11年8月24日 群馬県告示第492号 | 旧太田市 | 3,467 | 6,329 | 9,796 | 第4回線引き見直し (太田) 新野脇屋地区、八幡河原地区、石原町下小林町地区の市街化区域編入 (尾島) 尾島東部土地区画整理事業地の市街化区域編入 (大泉) 坂田古水地区、古海第2地区の市街化区域編入 |
| | 旧尾島町 | 273 | 1,661 | 1,934 | |
| | 旧新田町 | 471 | 3,351 | 3,822 | |
| | 大泉町 | 1,327 | 466 | 1,793 | |
| | 計 | 5,538 | 11,807 | 17,345 | |
| 平成21年8月11日 群馬県告示第319号 | 太田市 | 4,293 | 11,259 | 15,552 | 第6回線引き見直し (太田) 大島地区、東長岡伊豆山地区、北部大規模開発事業地区、飯塚地区の市街化区域編入 |
| | 大泉町 | 1,327 | 466 | 1,793 | |
| | 計 | 5,620 | 11,725 | 17,345 | |
| 平成22年3月1日 群馬県告示第50号 | 太田市 | 4,293 | 11,175 | 15,468 | 市町村境界変更による区域変更 |
| | 大泉町 | 1,327 | 466 | 1,793 | |
| | 計 | 5,620 | 11,641 | 17,261 | |
| 平成23年1月11日 群馬県告示第2号 | 太田市 | 4,317 | 11,151 | 15,468 | 第6回線引き見直し(特定保留解除) (太田) 新田下田中地区の市街化区域編入 |
| | 大泉町 | 1,327 | 466 | 1,793 | |
| | 計 | 5,644 | 11,617 | 17,261 | |
| 平成27年5月22日 群馬県告示第158号 | 太田市 | 4,315 | 11,142 | 15,457 | 第7回線引き見直し (太田) 沖野上田島工業団地の一部の調整区域編入 |
| | 大泉町 | 1,327 | 476 | 1,803 | |
| | 計 | 5,642 | 11,618 | 17,260 | |
| 平成29年1月31日 群馬県告示第32号 | 太田市 | 4,379 | 11,078 | 15,457 | 第7回線引き見直し(特定保留解除)および随時見直しによる変更 (太田) 吉沢原宿地区および東長岡西地区の市街化区域編入 |
| | 大泉町 | 1,327 | 476 | 1,803 | |
| | 計 | 5,706 | 11,554 | 17,260 | |

※小数点未満については切り捨て
(資料：太田市資料)

6 住宅

本市は、工業団地の造成とそれに伴う優良企業の誘致により流入人口が増加し、住宅の需要が増えたため、住宅地整備が必要とされました。住宅団地は表の通り25箇所、約329.5ヘクタールが造成されています。

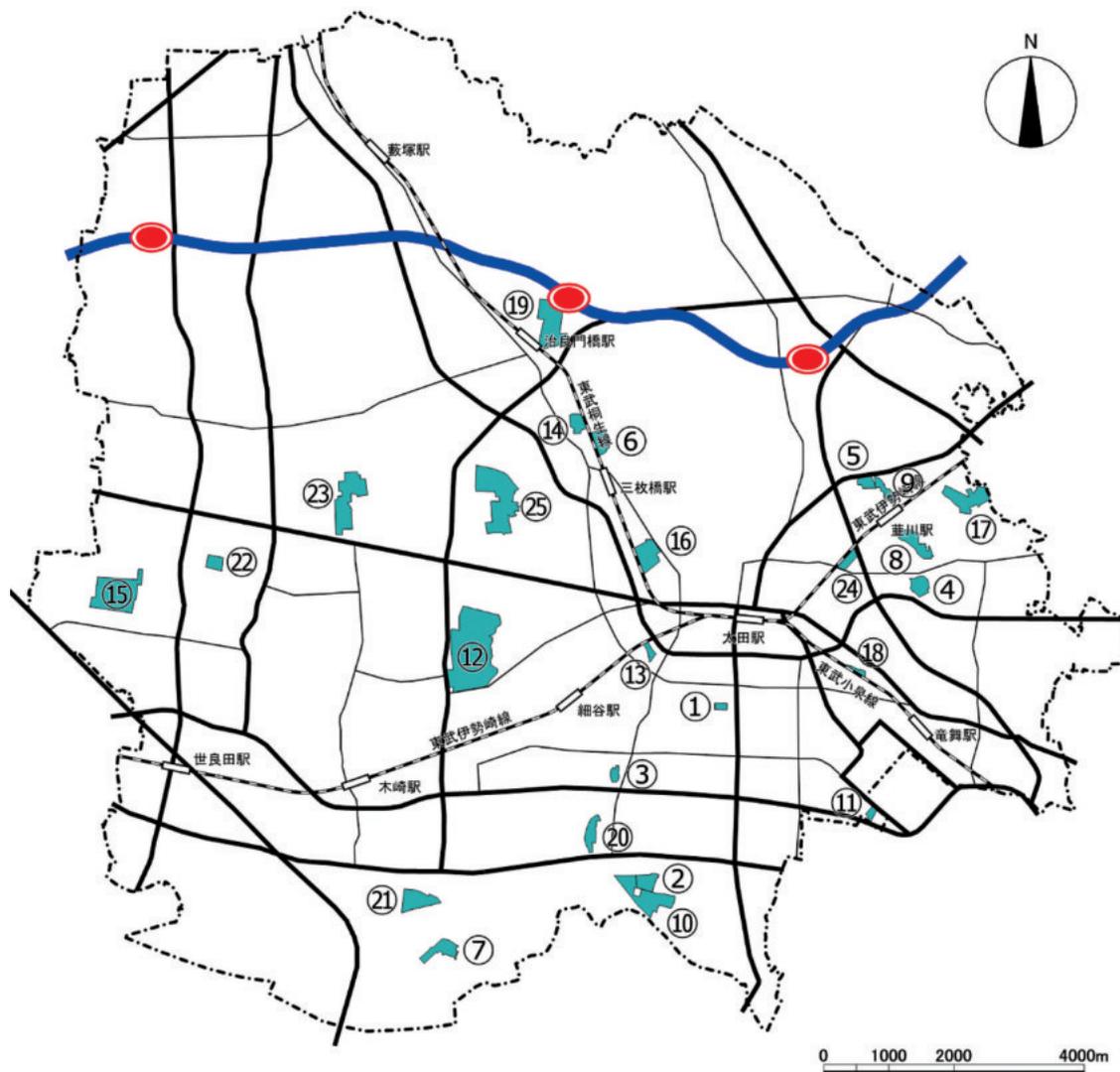
今後は核家族化、高齢化などに伴う新たな住宅需要に対応できる住宅地の整備が課題となっています。特に、周辺環境整備を図り、低廉でかつ良好な公営賃貸住宅及び宅地供給に加え、老朽化した公営住宅の改築が課題となっています。

表：住宅団地一覧（平成24年10月1日現在）

| 番号 | 団地名 | 造成年度 | 面積(ha) | 施行者 | 備考 |
|----|---------------|---------|--------|---------|----------|
| 1 | 新井住宅団地 | S29～S33 | 2.0 | 群馬県・太田市 | |
| 2 | 牛沢住宅団地 | S36～S37 | 4.0 | 太田市 | |
| 3 | 岩瀬川住宅団地 | S37～S38 | 2.4 | 太田市 | |
| 4 | 石原住宅団地 | S39 | 7.0 | 群馬県 | 土地区画整理事業 |
| 5 | 高原住宅団地 | S41～S42 | 4.0 | 太田市 | |
| 6 | 鳥之郷住宅団地 | S43～S44 | 7.7 | 群馬県 | |
| 7 | 南ヶ丘住宅団地 | S44～S45 | 10.0 | 群馬県 | |
| 8 | 蕪川第一住宅団地 | S45 | 5.0 | 群馬県 | |
| 9 | 蕪川第二住宅団地 | S45 | 5.2 | 群馬県 | |
| 10 | 高林新牛沢住宅団地 | S45～S47 | 19.1 | 太田市 | |
| 11 | 東別所住宅団地 | S46～S49 | 5.8 | 太田市 | |
| 12 | 宝泉住宅団地 | S47～S48 | 79.1 | 群馬県 | |
| 13 | 浜町住宅団地 | S48 | 3.3 | 群馬県 | |
| 14 | 鳥山住宅団地 | S49 | 3.5 | 群馬県 | |
| 15 | いずみ住宅団地 | S50～S52 | 34.5 | 群馬県 | |
| 16 | 大島住宅団地 | S52～S53 | 6.8 | 群馬県 | |
| 17 | 矢場住宅団地 | S55～S56 | 19.1 | 群馬県 | |
| 18 | 内ヶ島住宅団地 | S55 | 3.3 | 群馬県 | |
| 19 | 成塚住宅団地 | S61～S63 | 24.2 | 群馬県 | |
| 20 | 富沢住宅団地 | S63～H7 | 4.1 | 太田市 | |
| 21 | すずかけ団地 | H2～H3 | 5.8 | 群馬県 | |
| 22 | やすらぎ住宅団地 | H4 | 6.5 | 群馬県 | |
| 23 | グリーンタウンいくしな | H4～H5 | 22.6 | 群馬県 | |
| 24 | 東長岡住宅団地 | H6～H9 | 3.6 | 群馬県 | |
| 25 | Pal Town 城西の杜 | H12～H23 | 40.9 | 太田市 | |
| 合計 | | | 329.5 | - | |

(資料：太田市資料)

図：住宅団地位置図



凡 例

基 本

- 高速道路
- インターチェンジ
- 鉄道
- 主要幹線道路(計画・構想を含む)
- 幹線道路(計画・構想を含む)

団 地

- 住宅団地

7 土地区画整理事業

土地区画整理事業は、昭和15年の新興工業都市建設土地区画整理事業に始まり、高度経済成長期の昭和40年代から本格的なスタートをしました。

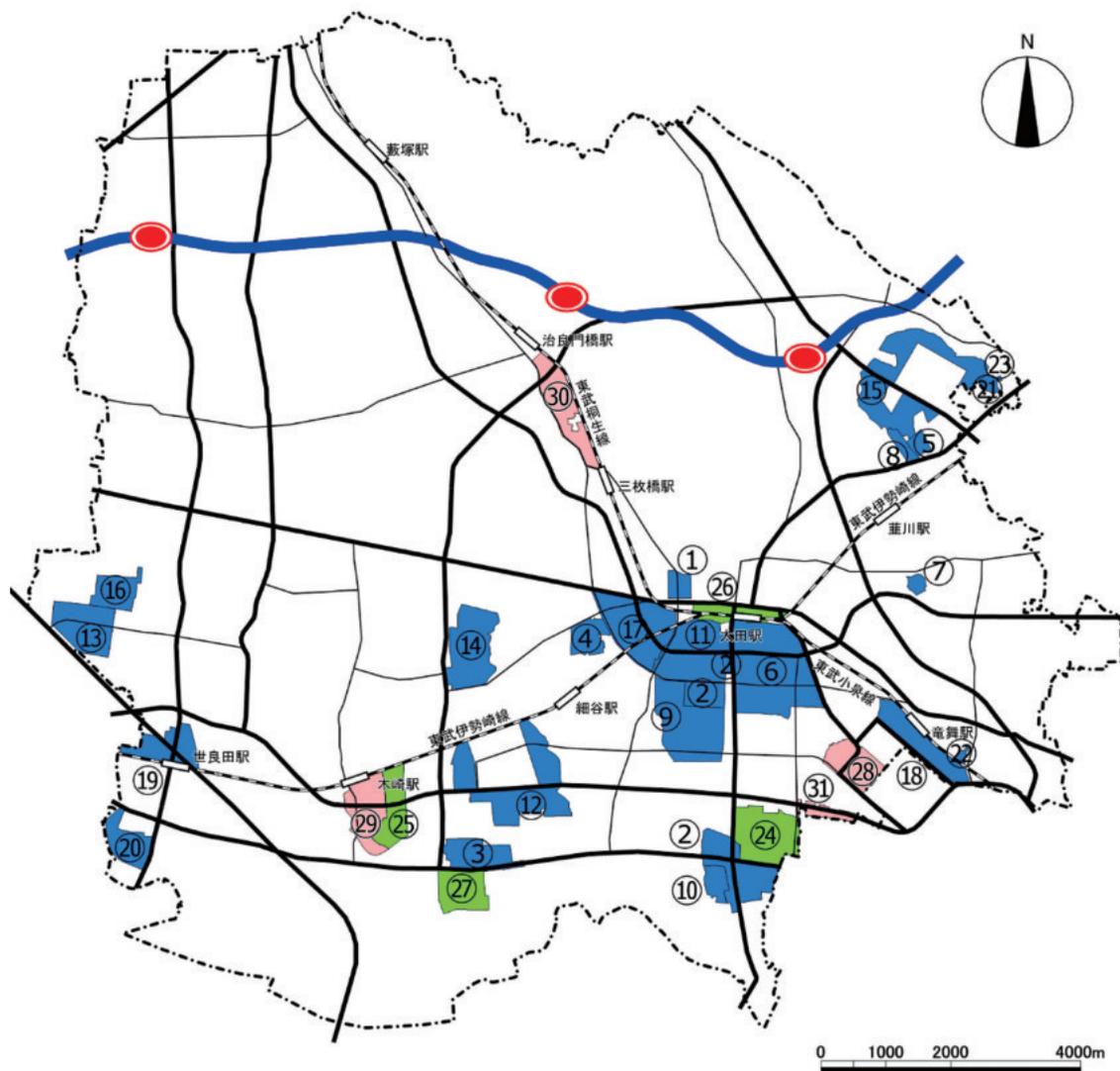
現在、事業が完了した地区は23地区、面積約1,246.3ヘクタール、施行中の地区は、東矢島、宝泉南部、太田駅周辺、尾島東部の4地区、面積約200ヘクタールで、両者を合わせると市街化区域(4,379ヘクタール)の33%に上ります。今後更に、関係住民の理解と協力を得ながら未整備地区の土地区画整理事業を推進し、生活環境の改善、良好な住宅地の供給の推進を図っております。

表：土地区画整理事業一覧（平成27年4月1日現在）

| No. | 地区名 | 施行者 | 面積[ha] | 都市計画 決定・変更 | 事業認可 | 施行年度 | 用途 | |
|------------|---------|----------|----------------------|-----------------|-----------------------|-----------|---------|---------------|
| 旧都市計画 法 | 1 | 八幡前 | 個人→共同 | 13.1 | - | S17.5.25 | S17~S26 | |
| | 2 | 太田町(市) | 町(市) | 104.0 | S15.3.13 | S17.11.16 | S17~S25 | |
| | 3 | 尾島 | 町 | 48.3 | - | S18.7.5 | S18~S21 | |
| | 4 | 宝泉(藤久良) | 村 | 27.2 | - | S27.9.30 | S27 | |
| | 小計 4箇所 | | 192.6 | | | | | |
| 施行済 | 5 | 矢場川工業団地 | 群馬県 | 9.4 | - | S39.3.25 | S38~S39 | 工業団地 |
| | 6 | 九合 | 市 | 164.2 | S36.12.27 S37.11.7 | S37.12.24 | S37~S49 | |
| | 7 | 石原 | 群馬県 | 7.0 | - | S40.2.9 | S39~S40 | 住宅団地 |
| | 8 | 矢場川第二 | 群馬県 | 10.4 | - | S40.5.18 | S40 | 工業団地 |
| | 9 | 太田工業団地 | 群馬県 | 98.3 | - | S42.1.5 | S41~S42 | 工業団地 (56.3ha) |
| | 10 | 高林向野 | 組合 | 17.1 | - | S43.5.8 | S43~S47 | |
| | 11 | 浜町・新井 | 市 | 88.5 | S44.4.28 | S45.10.15 | S45~S56 | |
| | 12 | 太田西部 | 群馬県 | 116.1 | - | S46.6.16 | S46~S48 | |
| | 13 | 新田西部工業団地 | 群馬県 | 61.5 | - | S48.1.30 | S47~S48 | 工業団地 |
| | 14 | 宝泉 | 群馬県 | 79.1 | - | S48.7.16 | S48~S50 | 住宅団地 |
| | 15 | 太田東部 | 群馬県 | 119.6 | - | S49.3.8 | S48~S51 | 工業団地 |
| | 16 | 新田西部住宅団地 | 群馬県 | 34.3 | - | S50.11.18 | S50~S53 | 住宅団地 |
| | 17 | 西藤 | 市 | 92.9 | S49.9.10 | S50.11.21 | S50~H2 | |
| | 18 | 竜内 | 組合 | 61.6 | S56.8.11 | S56.12.23 | S56~H12 | |
| | 19 | 尾島工業団地 | 群馬県 | 46.2 | S62.5.1 | S60.3.22 | S59~S62 | 工業団地 |
| | 20 | 今井 | 組合 | 38.0 | - | S62.11.13 | S62~H8 | |
| | 21 | 市場前原 | 組合 | 6.2 | - | H11.3.24 | H10~H16 | |
| | 22 | 神明 | 組合 | 2.8 | - | H12.9.1 | H12~H14 | |
| | 23 | 高瀬 | 組合 | 0.5 | - | H18.3.1 | H17~H22 | |
| | 小計 19箇所 | | 1,053.7 | | | | | |
| 施行中 | 24 | 東矢島 | 市 | 79.9 | H1.11.4 | H2.8.24 | H2~H31 | |
| | 25 | 宝泉南部 | 市 | 42.6 | H3.2.28 | H3.10.9 | H3~H35 | |
| | 26 | 太田駅周辺 | 市 | 31.0 | H6.1.11 H8.4.9 | H8.7.25 | H8~H37 | |
| | 27 | 尾島東部 | 組合 | 45.9 | H11.8.24 | H12.1.21 | H11~H35 | |
| | 小計 4箇所 | | 199.4 | | | | | |
| 施行予定 | 28 | 飛行場跡 | 一部事務 組合 | 44.0 (132.9) | S36.3.25 S61.11.9 | - | - | |
| | 29 | 宝泉南部 | | 56.6 | H3.2.28 | - | - | |
| | 30 | 烏山 | 組合 | 65.9 | H4.4.10 | - | - | |
| | 31 | 東別所南部 | 組合 | 14.6 | H18.2.8 | - | - | |
| | 小計 4箇所 | | 181.1 (270.0) | | | | | |
| 合計 31箇所 | | | 1,626.8 (1,715.7) | | | | | |

面積は太田市分で、()内は全体の面積を表しています。
(資料：太田市資料)

図：土地区画整理事業位置図



凡 例

基 本

- 高速道路
- インターチェンジ
- 鉄道
- 主要幹線道路 (計画・構想を含む)
- 幹線道路 (計画・構想を含む)

土地区画整理事業

- 施行済
- 施行中
- 施行予定

8 市街地再開発事業

市街地総合再生計画

本市では、太田市の「顔」とも言える太田駅南口地区(約9.6ヘクタール)の再生に向け、「太田駅南口地区市街地総合再生計画」を策定しました。

基本目標

「人が暮らすためのまち」

「安全・安心」と暮らしに近い機能の充実を図ります

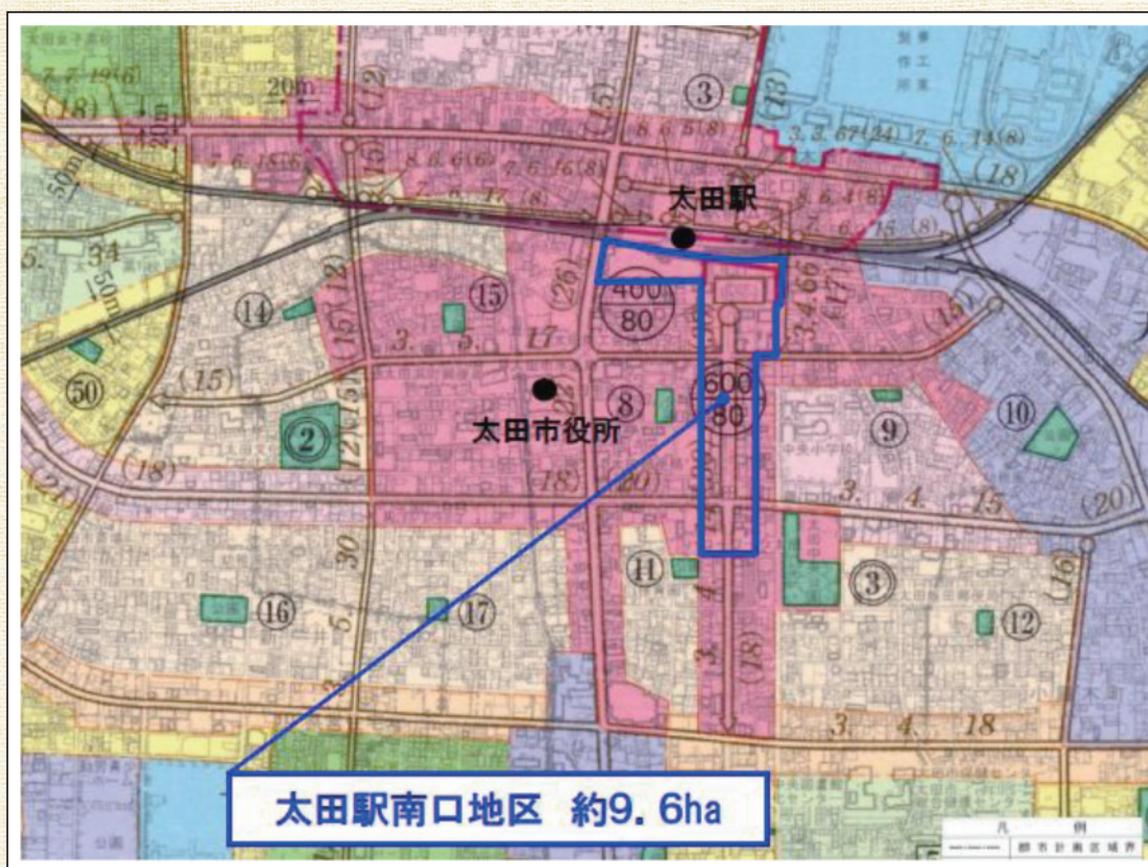
「快適に過ごせる都市空間」

「学ぶ」「働く」「遊ぶ」など快適で美しい「人が集う」空間づくりを行います

「子どもや孫に託せる未来」

持続可能な、誇れるまちを作ります

表：位置図



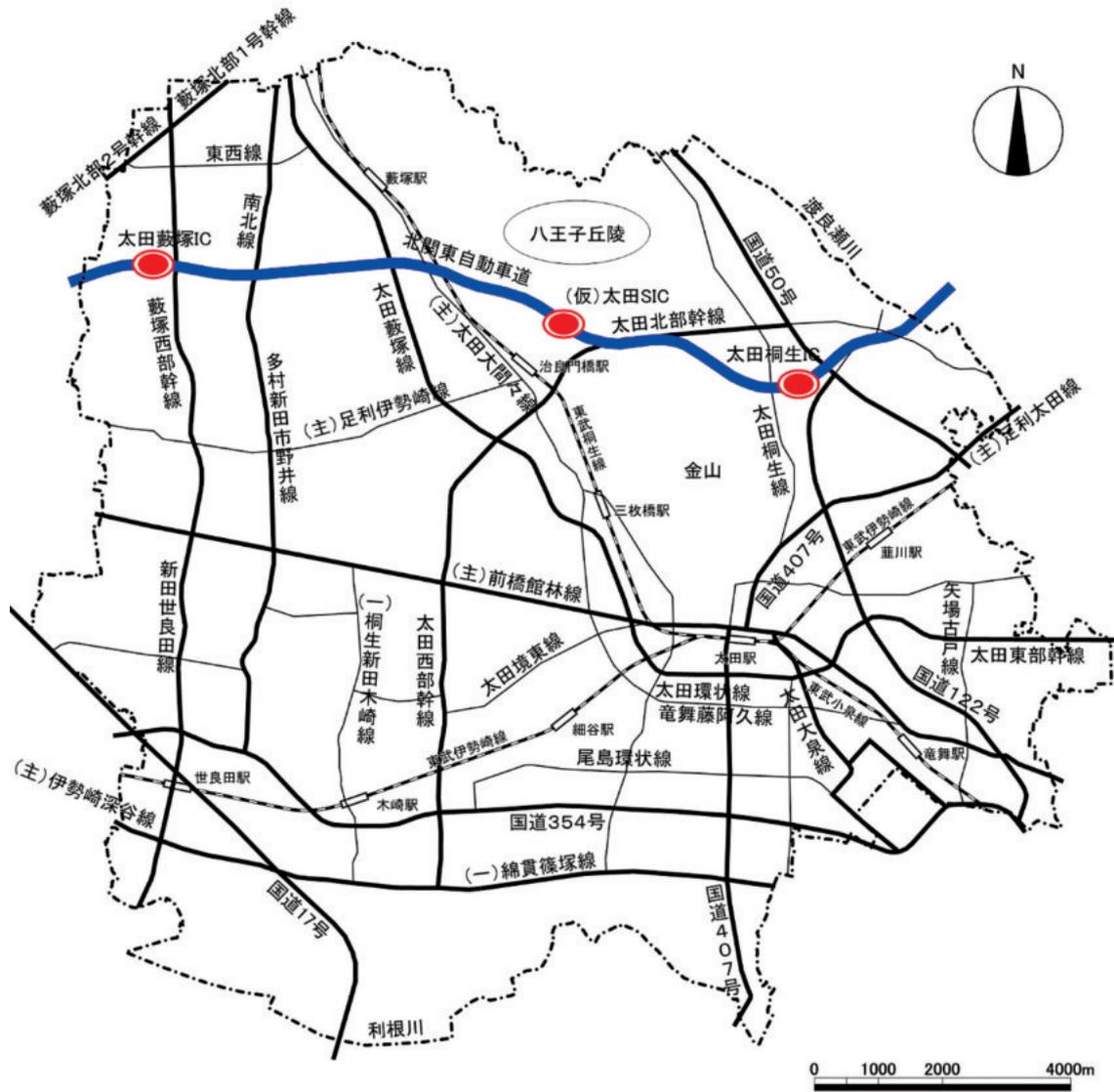
9 道路・公共交通網

(1) 道路網の状況

市内の道路網は、国道17号、国道50号、国道122号、国道354号、国道407号及び主要な県道が走り、骨格道路として近隣市町及び近隣県との優れた連携機能を備えています。また市内には、北関東自動車道が北部地域を、東毛広域幹線道路が南部地域を通過して関越自動車道、東北自動車道と接続しており、広域の道路交通網を形成しています。北関東自動車道に新たに整備された(仮称)太田スマートインターチェンジは、地域の活性化に大きな役割を果たすものとして期待されています。



図：道路網状況図



| 凡 例 | | | |
|-------|-------------------|--|----------|
| 交 通 網 | | | |
| | 高速道路 | | インターチェンジ |
| | 幹線道路 (計画・構想を含む) | | 鉄道 |
| | 主要幹線道路 (計画・構想を含む) | | |

(2) 都市計画道路

本市は昭和14年代工業都市建設のため大街路網を決定しましたが、同35年には戦災と社会情勢の変化により道路網計画の再検討が必要となり、それまでの計画を廃止し、新たな構想のもとに新計画が決定されました。

その後、見直しを経て現在では、96路線、244.85km(太田都市計画で86路線、216.54km、藪塚都市計画で8路線、27.17km、伊勢崎都市計画で2路線、1.14km)が都市計画決定され、その整備が進められています。

表：都市計画道路整備状況（平成 27 年 3 月 31 日現在）

| 区分 | | 路線数 | 計画延長(km) | 整備済延長(km) | 未整備延長(km) | 整備率(%) |
|----------|---------|-----|----------|-----------|-----------|--------|
| 太田都市計画道路 | 自動車専用道路 | 1 | 8.30 | 8.30 | 0.00 | 100.0 |
| | 幹線街路 | 62 | 198.30 | 104.22 | 94.08 | 52.6 |
| | 区画街路 | 18 | 8.02 | 4.30 | 3.72 | 53.6 |
| | 特殊街路 | 5 | 1.92 | 0.14 | 1.78 | 7.3 |
| | 合計 | 86 | 216.54 | 116.96 | 99.58 | 54.0 |

(※延長距離に大泉町分は含まない)

| 区分 | | 路線数 | 計画延長(km) | 整備済延長(km) | 未整備延長(km) | 整備率(%) |
|--------|---------|-----|----------|-----------|-----------|--------|
| 藪塚画都市路 | 自動車専用道路 | 1 | 5.57 | 5.57 | 0.00 | 100.0 |
| | 幹線街路 | 7 | 21.60 | 3.07 | 18.53 | 14.2 |
| | 合計 | 8 | 27.17 | 8.64 | 18.53 | 31.8 |

| 区分 | | 路線数 | 計画延長(km) | 整備済延長(km) | 未整備延長(km) | 整備率(%) |
|---------|------|-----|----------|-----------|-----------|--------|
| 伊勢崎都市計画 | 幹線街路 | 2 | 1.14 | 1.14 | 0.00 | 100.0 |
| | 合計 | 2 | 1.14 | 1.14 | 0.00 | 100.0 |

(資料：太田市資料)

(3) 公共交通の状況

本市の鉄道輸送機関として、古くから産業の発展に重要な役割を果たしてきた東武鉄道は、太田駅を中心にして伊勢崎線とこれに接続する桐生線、小泉線とからなり、市街地をタスキ状に4分割する形状になっています。

一方、バス路線は市内にはシティライナーおおたで新田線、尾島線、市内循環線の3路線あり、これにイオンモール太田線を入れた4路線が走行しています。近隣市町と結ぶ路線は、おうらタウンバス、広域公共バスあおぞら、朝日バス、OTA-Cityシャトル500、いせさきしコミュニティバスあおぞらの5路線、主要都市や空港と結ぶ都市間移動路線は、7路線あります。

表：太田市内バス運行状況（道路運送法4条）

| | バス名 | 路線名 | | 運行本数（本/日） | |
|-------------------|---------------------------------|----------------------------------|--------------|-----------|-----|
| | | | | 平日 | 土日祝 |
| 市内路線 | シティライナーおおた （太田市委託路線） | 新田線：太田駅北口 ～新田暁高校 | 小型バス 中型バス | 19 | - |
| | | 尾島線：太田駅北口 ～尾島歴史公園 | 小型バス | 10 | - |
| 市内循環線：太田駅 北口発着 | | 小型バス | 7 | - | |
| | イオンモール太田線 （自主路線） | イオンモール太田線： 太田駅南口～ イオンモール太田 | 大型バス | 78 | |
| 広域路線 | おうらタウンバス （邑楽町委託路線） | 邑楽～太田線： 太田記念病院～ 邑楽町役場 | 小型バス | 10 | 8 |
| | 広域公共バスあおぞら （大泉町・千代田町委託路線） | 大泉・千代田線： 太田記念病院～ 千代田町役場 | 中型バス | 10 | 10 |
| | 朝日バス （自主路線） | 熊谷駅～太田駅線： 太田駅南口～ 熊谷駅北口 | 中型バス | | |
| | OTA-Cityシャトル500 （自主路線） | 太田駅南口～ 熊谷駅南口 | 小型バス 中型バス | 46 | 34 |
| | いせさきしコミュニティバスあおぞら （伊勢崎市委託路線） | 東西シャトル：新田暁 高校～市民病院 | | 10 | 6 |
| 都市間移動 | メープル号 | 成田空港 | 大型バス | 14 | 14 |
| | エアポートリムジン | 羽田空港 | 大型バス | 8 | 8 |
| | シルクライナー | 名古屋 | 大型バス | 2 | 2 |
| | | 奈良 | 大型バス | 2 | 2 |
| | | 京都 | 大型バス | 2 | 2 |
| | | 大阪 | 大型バス | 4 | 4 |
| 仙台ライナー | 仙台駅 | 大型バス | 2 | 2 | |

（資料：地域公共交通網形成計画）

(4) 公共交通の利用者数

東武鉄道の乗降客数は、平成22年度から治良門橋駅を除く各駅で緩やかに増加しています。また太田市合計の約半数がターミナル駅である太田駅が占めている状況にあります。

市内のバスについては、シティライナーおおたとイオンモール太田線のほかに、利用者を限定したデマンド方式の「おうかがい市バス」が市内全域を運行しており、利用者は年々増加しております。

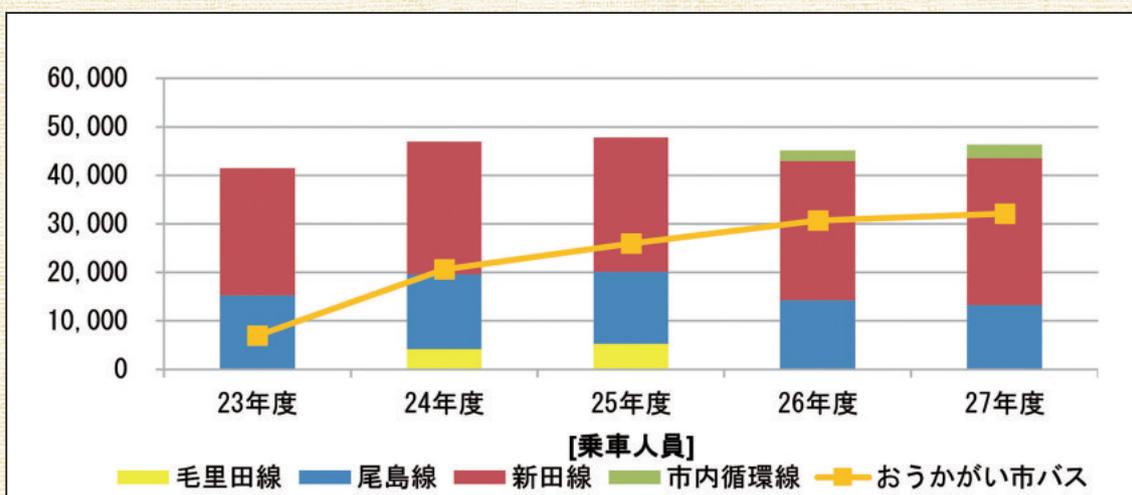
表：東武鉄道駅別乗降客数（単位：千人）

| 年度／区分 | 総数 | 太田 | 細谷 | 木崎 | 世良田 | 葦川 | 三枚橋 | 治良門橋 | 藪塚 | 竜舞 | |
|-------|----|-------|-------|-----|-----|-----|-----|------|-----|-----|-----|
| H22 | 総数 | 7,022 | 3,517 | 832 | 894 | 143 | 719 | 157 | 279 | 361 | 120 |
| | 一般 | 2,171 | 1,475 | 144 | 161 | 18 | 124 | 28 | 54 | 146 | 21 |
| | 定期 | 4,851 | 2,042 | 688 | 733 | 125 | 595 | 129 | 225 | 215 | 99 |
| H23 | 総数 | 7,084 | 3,584 | 809 | 895 | 152 | 707 | 186 | 260 | 368 | 123 |
| | 一般 | 2,261 | 1,527 | 141 | 163 | 23 | 118 | 49 | 54 | 162 | 24 |
| | 定期 | 4,823 | 2,057 | 668 | 732 | 129 | 589 | 137 | 206 | 206 | 99 |
| H24 | 総数 | 7,419 | 3,770 | 851 | 906 | 158 | 753 | 199 | 247 | 397 | 138 |
| | 一般 | 2,455 | 1,670 | 153 | 173 | 26 | 127 | 49 | 49 | 179 | 29 |
| | 定期 | 4,964 | 2,100 | 698 | 733 | 132 | 626 | 150 | 198 | 218 | 109 |
| H25 | 総数 | 7,786 | 3,929 | 906 | 933 | 166 | 837 | 215 | 240 | 412 | 148 |
| | 一般 | 2,499 | 1,689 | 164 | 177 | 27 | 135 | 49 | 42 | 181 | 35 |
| | 定期 | 5,287 | 2,240 | 742 | 756 | 139 | 702 | 166 | 198 | 231 | 113 |
| H26 | 総数 | 7,795 | 3,949 | 926 | 903 | 159 | 837 | 218 | 231 | 408 | 164 |
| | 一般 | 2,528 | 1,702 | 169 | 179 | 28 | 138 | 49 | 44 | 179 | 40 |
| | 定期 | 5,267 | 2,247 | 757 | 724 | 131 | 699 | 169 | 187 | 229 | 124 |
| H27 | 総数 | 8,071 | 4,120 | 964 | 920 | 167 | 859 | 218 | 235 | 403 | 185 |
| | 一般 | 2,636 | 1,769 | 179 | 191 | 31 | 145 | 50 | 45 | 182 | 44 |
| | 定期 | 5,435 | 2,351 | 785 | 729 | 136 | 714 | 168 | 190 | 221 | 141 |

(資料：統計おおた)

表：「シティライナーおおた」「おうかがい市バス」利用状況

| 年度 | 23年度 | | 24年度 | | 25年度 | | 26年度 | | 27年度 | |
|----------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | 便数 | 乗車人員 | 便数 | 乗車人員 | 便数 | 乗車人員 | 便数 | 乗車人員 | 便数 | 乗車人員 |
| 毛里田線 | - | - | 1,715 | 4,175 | 1,708 | 5,262 | - | - | - | - |
| 尾島線 | 1,253 | 15,264 | 1,225 | 15,426 | 1,220 | 14,853 | 1,220 | 14,244 | 1,220 | 13,312 |
| 新田線 | 1,702 | 26,182 | 1,715 | 27,328 | 1,708 | 27,712 | 1,708 | 28,747 | 1,708 | 30,251 |
| 市内循環線 | - | - | - | - | - | - | 1,708 | 2,119 | 1,708 | 2,781 |
| 計 | 2,955 | 41,446 | 4,655 | 46,929 | 4,636 | 47,827 | 4,636 | 45,110 | 4,636 | 46,344 |
| おうかがい市バス | 6,975 | | 20,582 | | 25,969 | | 30,703 | | 32,108 | |



(資料：統計おおた)

(5) 自動車交通量

本市の中心部周辺の自動車交通量は以下のような状況となっています。

12時間交通量が15,000台以上の路線は、一般国道122号、一般国道354号、一般国道407号となっています。

大型車混入率が10%以上の路線も多く、一般国道122号、一般国道354号、一般国道407号については15%を超えています。

混雑度が1.0を超えている路線も複数存在し、特に混雑度が高い路線(1.5以上)は、一般国道407号、一般県道鳥山竜舞線となっています。

平成22年度と平成27年度の調査結果を比較して、12時間交通量が1,000台以上増加している路線は、一般国道122号、一般国道354号、一般国道407号、一般県道妻沼小島太田線となっています。

表：交通量の状況

| 調査区 単番 位号 | 路線名 | 交通量観測地点地名 | 昼自 間動 12車 時類 間交 通量 (台) | 昼大 間型 12車 時混 間入 率 (%) | 混 雑 度 | 平成22年度 | 増加数 H22→H27 (台) |
|-----------------|----------|----------------|--|---|-------------|--|---------------------------|
| | | | | | | 昼自 間動 12車 時類 間交 通量 (台) | |
| 15080 | 一般国道122号 | 太田市安良岡町131-4 | 20,336 | 15.1 | 1.00 | 19,325 | 1,011 |
| 24140 | 一般国道354号 | 太田市下田島町547-3付近 | 20,519 | 20.4 | .88 | 15,993 | 4,526 |
| 24150 | 一般国道354号 | 太田市高林北町2002-1 | 23,847 | 18.1 | 1.04 | 12,284 | 11,563 |
| 28020 | 一般国道407号 | 太田市熊野町19-1 | 14,388 | 11.3 | 1.53 | 15,003 | -615 |
| 28050 | 一般国道407号 | | 22,712 | 15.1 | 1.12 | 21,441 | 1,271 |
| 40100 | 前橋館林線 | 太田市新道町102-3 | 14,377 | 11.6 | 1.39 | 15,495 | -1,118 |
| 40110 | 前橋館林線 | 太田市東本町11-18 | 9,639 | 8.9 | .93 | 11,865 | -2,226 |
| 43080 | 太田大間々線 | 太田市鳥山中町271-3 | 12,540 | 8.8 | .92 | 12,691 | -151 |
| 60460 | 佐野太田線 | 太田市台之郷町812-7 | 10,346 | 6.5 | 1.47 | 11,617 | -1,271 |
| 60730 | 綿貫篠塚線 | 太田市岩松町599-1 | 10,293 | 11.7 | 1.47 | 12,444 | -2,151 |
| 60740 | 綿貫篠塚線 | 大泉町大字寄木戸1585-1 | 10,853 | 12.1 | 1.32 | 15,796 | -4,943 |
| 62550 | 由良深谷線 | 太田市下田島町578-2 | 5,585 | 13.8 | .89 | 8,259 | -2,674 |
| 62590 | 新堀尾島線 | | 4,907 | 12.9 | .72 | 4,894 | 13 |
| 62850 | 妻沼小島太田線 | 太田市下浜田町1004-1 | 9,046 | 7.9 | 1.03 | 7,453 | 1,593 |
| 62910 | 太田境東線 | 太田市藤阿久町977-1 | 10,807 | 5.0 | 1.04 | 10,822 | -15 |
| 62940 | 太田大泉線 | 太田市内ヶ島町641 | 8,727 | 11.6 | .56 | 9,572 | -845 |
| 63080 | 金山城趾線 | 太田市本町38-21 | 4,974 | 3.6 | .82 | 4,867 | 107 |
| 63100 | 鳥山竜舞線 | 太田市小舞木町335 | 13,269 | 6.5 | 1.72 | 14,015 | -746 |
| 63350 | 太田熊谷線 | 太田市東本町43-1 | 9,261 | 8.4 | 1.07 | 8,564 | 697 |

(資料：平成27年度道路交通センサス(国土交通省))

10 処理施設

(1) 下水道

本市では、昭和41年に市街地を中心として下水道事業に着手し、その後、平成3年に流域下水道・西邑楽処理区に係わる区域を追加決定するとともに、平成4年には流域下水道・新田処理区に係わる区域を追加決定し現在に至っています。

本市の公共下水道の全体計画は、処理人口を167,487人と想定し、2,394.6ヘクタールの区域に下水道法事業認可を受け、整備を進めています。

表：太田市下水道事業計画（平成27年3月31日現在）

| 区 分 | 全体計画 | | | 事業計画 | | | | | |
|-----------------------|------------|-----------|----------------------------|----------------|----------------|---------------------------|---------------------------|----------------------------|---------------------------|
| | 面積 (ha) | 人口 (人) | 汚水量 (m ³ /日) | 都市計画法 | | 下水道法事業認可 | | | |
| | | | | 計画決定 面積(ha) | 事業認可 面積(ha) | 面積(ha) | 人口(人) | 汚水量 (m ³ /日) | |
| 単独公共下水道 | 1,770.0 | 62,690 | 38,580 | 1,589.0 | 1,217.0 | 1,337.1 | 55,040 | 33,220 | |
| | | | | | | (うち特定環境 保全公共下水 道区域) | (うち特定環境 保全公共下水 道区域) | (うち特定環境 保全公共下水 道区域) | |
| | | | | | | (27.5) | (510) | (290) | |
| 流域 関連 公共 下水道 | 西邑楽処 理区 | 1,070.0 | 26,730 | 18,391 | 762.0 | 341.0 | 341.0 | 11,060 | 7,989 |
| | 新田処理 区 | 2,782.0 | 75,207 | 42,525 | 1,355.5 | 605.6 | 678.0 | 20,745 | 11,167 |
| | (旧太田) | 1,152.0 | 31,231 | 18,243 | 723.2 | 103.1 | 175.5 | 4,752 | 2,684 |
| | | | | | | | (うち特定環境 保全公共下水 道区域) | (うち特定環境 保全公共下水 道区域) | (うち特定環境 保全公共下水 道区域) |
| | | | | | | | (72.4) | (905) | (663) |
| | (旧尾島) | 355.0 | 6,940 | 3,628 | 172.3 | 172.3 | 172.3 | 4,303 | 2,272 |
| | (旧新田) | 775.0 | 20,187 | 11,779 | 255.0 | 169.3 | 169.3 | 6,559 | 3,605 |
| | (旧藪塚) | 500.0 | 16,849 | 8,875 | 205.0 | 160.9 | 160.9 | 5,131 | 2,606 |
| 佐波処理 区 | 159.0 | 2,860 | 1,699 | 38.5 | 38.5 | 38.5 | 1,300 | 708 | |
| 計 | 4,011.0 | 104,797 | 62,615 | 2,156.0 | 985.1 | 1,057.5 | 33,105 | 19,864 | |
| 合 計 | 5,781.0 | 167,487 | 101,195 | 3,745.0 | 2,202.1 | 2,394.6 | 88,145 | 53,084 | |

(資料：太田市資料)

(2) 汚物処理場

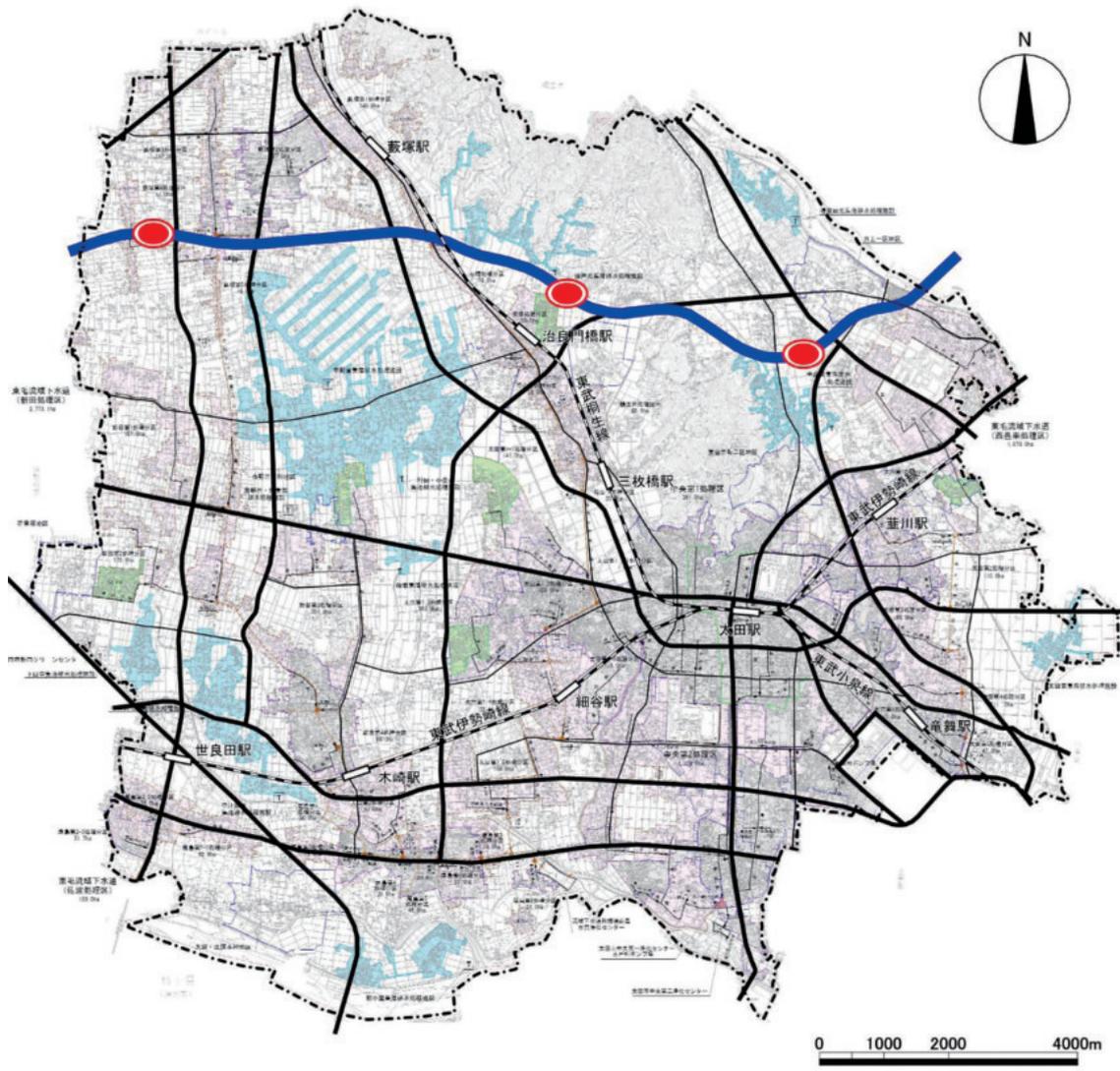
本市においては、平成元年4月14日、汚物処理施設として新田グリーンセンターを都市計画決定いたしました。1日あたり46klの処理能力を有する汚物処理場として、新田西部工業団地内(新田下田中町地内)に整備され、平成3年より稼動しています。

表：汚物処理場の概要

| 名称 | 位置 | 面積(ha) | 決定年月日 | 備考 |
|------------|--------|--------|-----------|----------------|
| 新田グリーンセンター | 新田下田中町 | 0.78 | 平成元年4月14日 | 処理能力 46kl/日 |

(資料：太田市資料)

図：公共下水道計画一般図



凡 例

- 高速道路
- インターチェンジ
- 鉄道
- 主要幹線道路(計画・構想を含む)
- 幹線道路(計画・構想を含む)

| | | |
|--|---|---|
| 平成27年度以前施工済 | 都市計画区域(行政区域界) | コミュニティプラント整備中 |
| 平成28年度以降施工予定 | 下水道幹線 | コミュニティプラント整備済 |
| 全体計画 | 流域下水道幹線 | 個別浄化槽事業区域 |
| 処理分区界 | 処理場 | 合流式下水道区域 |
| 事業計画区域 | ポンプ場 | 全体計画区域面積 |
| 市街化区域 | 農業集落排水事業施工中 | 100ha |
| 平成22年度DID | 農業集落排水事業施工済 | |

11 公園・緑地

都市計画公園・緑地・墓園

公園・緑地は都市に良好な風致や景観をそなえた快適な環境をつくり、自然とのふれあいを通じて心身ともに豊かな人間形成に寄与する極めて重要な役割を果たします。さらに、スポーツ・レクリエーションの場、避難地・避難路、公害・災害の防止・緩和など都市防災空間として、安全で快適な都市生活を営むうえで必要不可欠な施設です。

本市では、公園101箇所、227.99ヘクタール(太田都市計画で100箇所、223.59ヘクタール、藪塚都市計画で1箇所、4.4ヘクタール)、緑地7箇所、137.75ヘクタール(太田都市計画)、墓園1箇所、17.3ヘクタール(太田都市計画)が、それぞれ都市計画決定されています。

表：都市計画公園・緑地・墓園整備状況(平成28年10月1日現在)

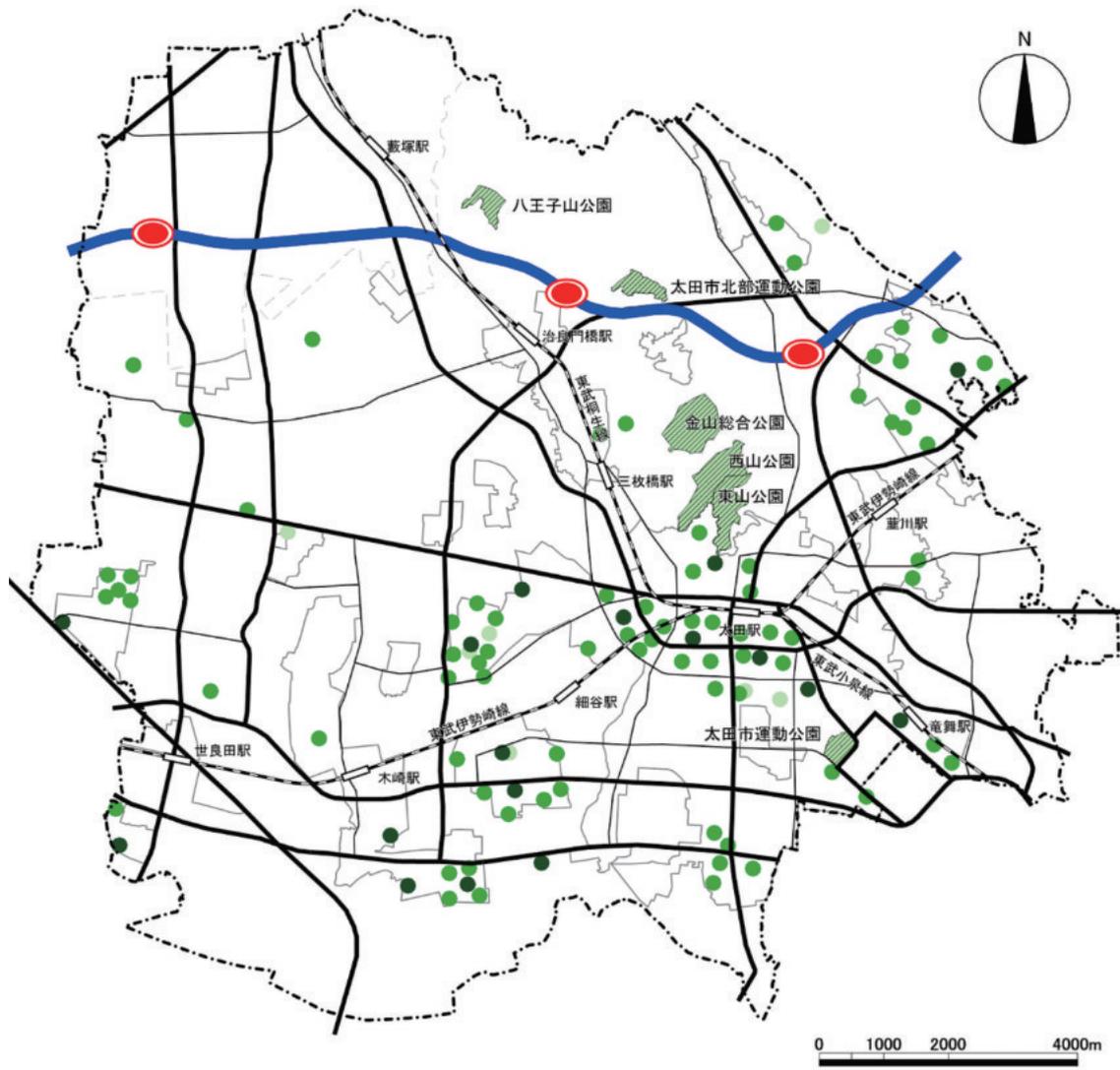
| 区分 | | 計画 | | 供用開始 | | 備考 |
|------------|------|-----|----------|------|----------|-----------|
| | | 箇所数 | 計画面積[ha] | 箇所数 | 供用面積[ha] | |
| 太田 都市計画 | 街区公園 | 78 | 21.89 | 74 | 21.31 | |
| | 近隣公園 | 17 | 30.70 | 15 | 28.10 | |
| | 総合公園 | 1 | 51.90 | 1 | 18.70 | |
| | 運動公園 | 2 | 36.00 | 2 | 34.57 | |
| | 風致公園 | 2 | 83.10 | 2 | 83.10 | |
| | 緑地 | 7 | 137.75 | 7 | 42.54 | |
| | 墓園 | 1 | 17.30 | 1 | 3.00 | |
| | 合計 | 108 | 378.64 | 102 | 231.32 | 整備率:61.1% |
| 藪塚 都市計画 | 地区公園 | 1 | 4.40 | 1 | 4.10 | |
| | 合計 | 1 | 4.40 | 1 | 4.10 | 整備率:93.2% |

(資料：太田市資料)

○公園の名称と主たる目的

| 種別 | 機能 |
|------------|--|
| 街区公園 | 主として街区内に居住する人の利用を目的とする公園 |
| 近隣公園 | 主として近隣に居住する人の利用を目的とする公園 |
| 地区公園 | 主として徒歩圏域内に居住する人の利用を目的とする公園 |
| 総合公園 | 主として一の市町村の区域内に居住する人の休憩、観賞、散歩、遊戯、運動等総合的な利用を目的とする公園 |
| 運動公園 | 主として運動することを目的とする公園 |
| 特殊公園(風致公園) | 主として風致の享受を目的とする公園 |
| 特殊公園(風致以外) | 動物公園、植物公園、歴史公園その他特殊な利用を目的とする公園 |
| 広域公園 | 一の市町村の区域を超える広域の区域を対象とし、休憩、観賞、散歩、遊戯、運動等総合的な利用を目的とする公園 |

図：公園緑地位置図



| 凡 例 | |
|-------------------|----------|
| 基 本 | |
| 高速道路 | インターチェンジ |
| 幹線道路 (計画・構想を含む) | 鉄道 |
| 主要幹線道路 (計画・構想を含む) | |
| 公園緑地 | |
| 街区公園 | 近隣公園 |
| その他の公園 | 緑地 |
| 市街化区域 | 非線引き区域 |

12 風致・景観

(1) 風致地区

風致地区は、良好な自然環境を維持・保全し、自然美豊かな景勝を保護・増進するため、自然的・歴史的要素に富んだ地域、または樹林に富んだ住宅地等で指定されます。

この地区内では、自然的な景観と建築物や宅地造成などの調和を図るため、市条例(太田市風致地区内における建築等の規制に関する条例)により、建築物の建築、宅地の造成、土石の採取、木竹の伐採、水面の埋め立て又は干拓、建築物の外装の色彩の変更、土石等の堆積などをしようとする場合は規制があります。

風致地区内における主な建築制限

- 建ぺい率:40%以下
- 高さ制限:15m以下
- 壁面後退:道路境界から2m以上、その他の部分から1m以上
- 建築物の形態・意匠・色彩:周辺の区域における風致と調和すること
- その他:風致の維持に必要な植栽を行うこと(緑化率・緑地率10%以上)

表：風致地区の決定・変更状況

| 決定・変更年月日 | 金山風致地区 (ha) | 天神山風致地区 (ha) | 朝子塚風致地区 (ha) | 下田島風致地区 (ha) |
|----------------------------|----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 昭和15年3月13日 内務省告示第116号 | 531.47 | 11.01 | 86.71 | 44.4 |
| 昭和33年11月25日 建設省告示第2053号 | 320.9 | 11.01 | 廃止 | 廃止 |

(資料：太田市資料)

(2) 景観

本市の景観は、土地利用の特性が表れた景観、まとまった自然や丘陵・河川などの地形がおりなす景観、古代から受け継がれてきた歴史・文化景観、四季折々のまつりやイベント、年中行事など人々の暮らしがおりなす景観などにより重層的に形成されています。これらの景観を土地利用の内容や本市の魅力ある景観づくりに資する地域資源(以下「景観資源」という。)の分布状況から11種類の景観類型に整理します。

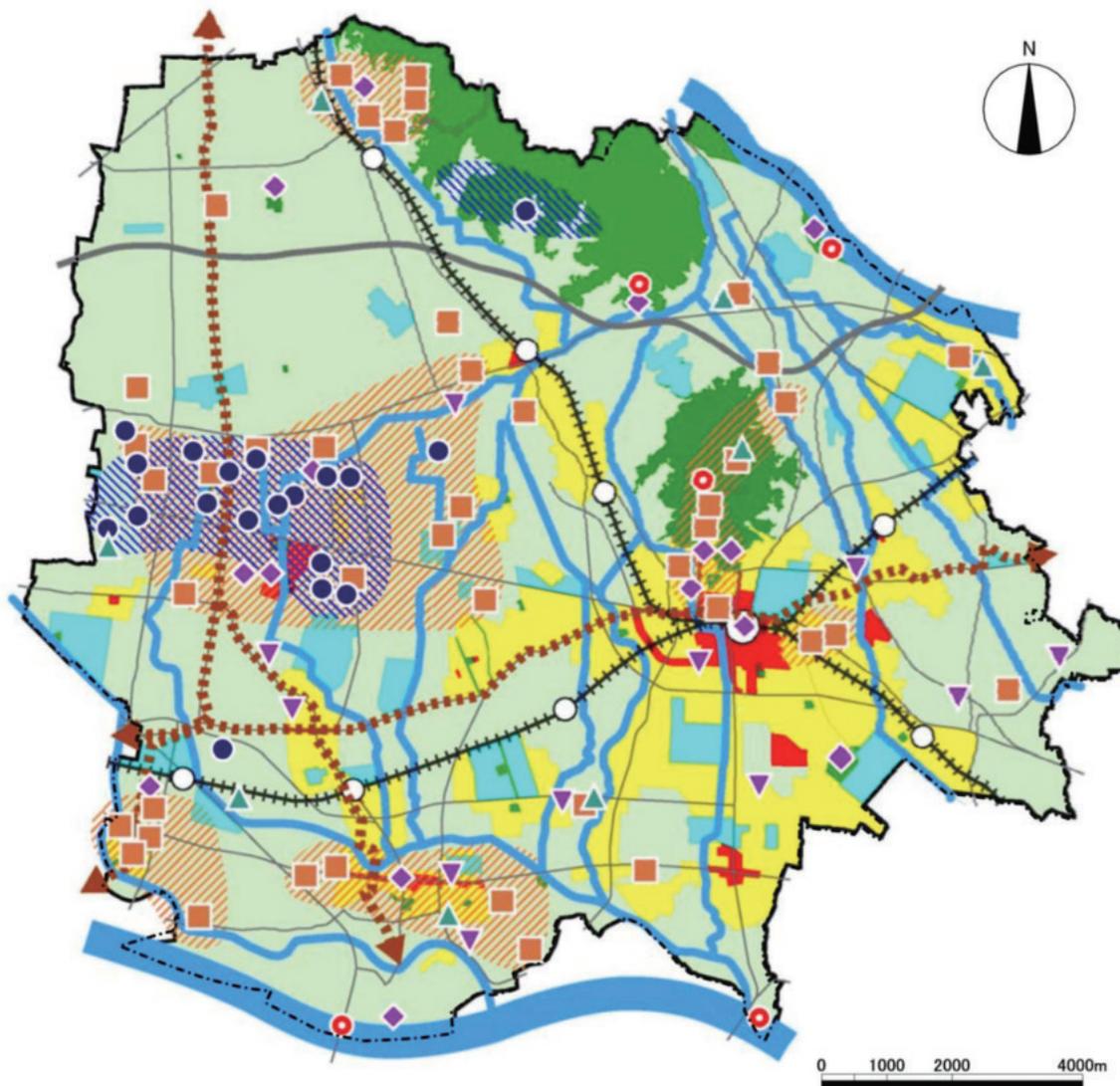
田園景観、住宅地景観、商業地景観及び工業地景観は、土地利用に基づく面的な広がりを持ち、日々の暮らしの積み重ねが表れた景観になっています。また、その他の景観類型は、市内に分布する景観資源により形成され、本市を特徴づける景観となっています。さらに、それらが集積して、歴史・文化景観資源のまとめり、水辺景観資源のまとめりを持った地域が見られます。

表：景観類型の分類

| 区分 | 景観類型 | 主な景観の要素 |
|------|----------|--|
| 土地利用 | ①田園景観 | ・郊外に広がる農地 ・屋敷林と伝統的な家屋、農地からなる集落 |
| | ②住宅地景観 | ・Pal Town 城西の杜などの住宅団地 ・市内に広がる低層住宅 |
| | ③商業地景観 | ・南一番街などの太田駅周辺商業地 ・大規模ショッピングセンター |
| | ④工業地景観 | ・計画的に整備された工業団地・流通団地 ・市街地に点在する工場群 |
| 景観資源 | ⑤みどりの景観 | ・金山・八王子丘陵 ・太田市運動公園や北部運動公園などの大規模公園 ・金山・市場の大ケヤキなどの巨木 |
| | ⑥水辺景観 | ・利根川・渡良瀬川・八瀬川などの河川・水路 ・矢太神湧水などの湧水地 ・菅塩沼などの池沼 |
| | ⑦眺望景観 | ・金山山頂からの眺め ・北部運動公園からの眺め ・渡良瀬川、利根川からの眺め |
| | ⑧沿道・沿線景観 | ・北関東自動車道などの幹線道路沿道 ・東武伊勢崎線などの鉄道沿線 |
| | ⑨歴史・文化景観 | ・新田荘遺跡などの遺跡 ・寺社などの文化財 ・丸山宿などの歴史的な街並み |
| | ⑩暮らしの景観 | ・花いっぱい運動 ・通学路の清掃・美化活動 ・公園リメイク事業 |
| | ⑪まつりの景観 | ・獅子舞などの伝統芸能 ・尾島ねぶたまつりなどのまつり ・芝桜まつりなどの四季を彩るイベント |

(資料：太田市景観計画)

図：本市の景観構造



| 凡 例 | |
|---|---------------|
| 土地利用 | 景観資源 |
| ①田園景観 | ⑤みどりの景観 |
| ②住宅地景観 | ⑥水辺景観 |
| ③商業地景観 | ⑦眺望景観 |
| ④工業地景観 | ⑧沿道・沿線景観 |
| | ⑨歴史・文化景観 |
| | ⑩まつりの景観 |
| | ○ 鉄道・駅 |
| | — 幹線道路 |
| | — 高速道路 |
| | ■ 文化財(建造物・史跡) |
| | ■ 古道 |
| | ◆ まつり |
| | ▼ 伝統芸能 |
| ■■■ 歴史・文化景観資源のまとまりのある区域 ■■■ 水辺景観資源のまとまりのある区域 | |

13 法規制

地区計画

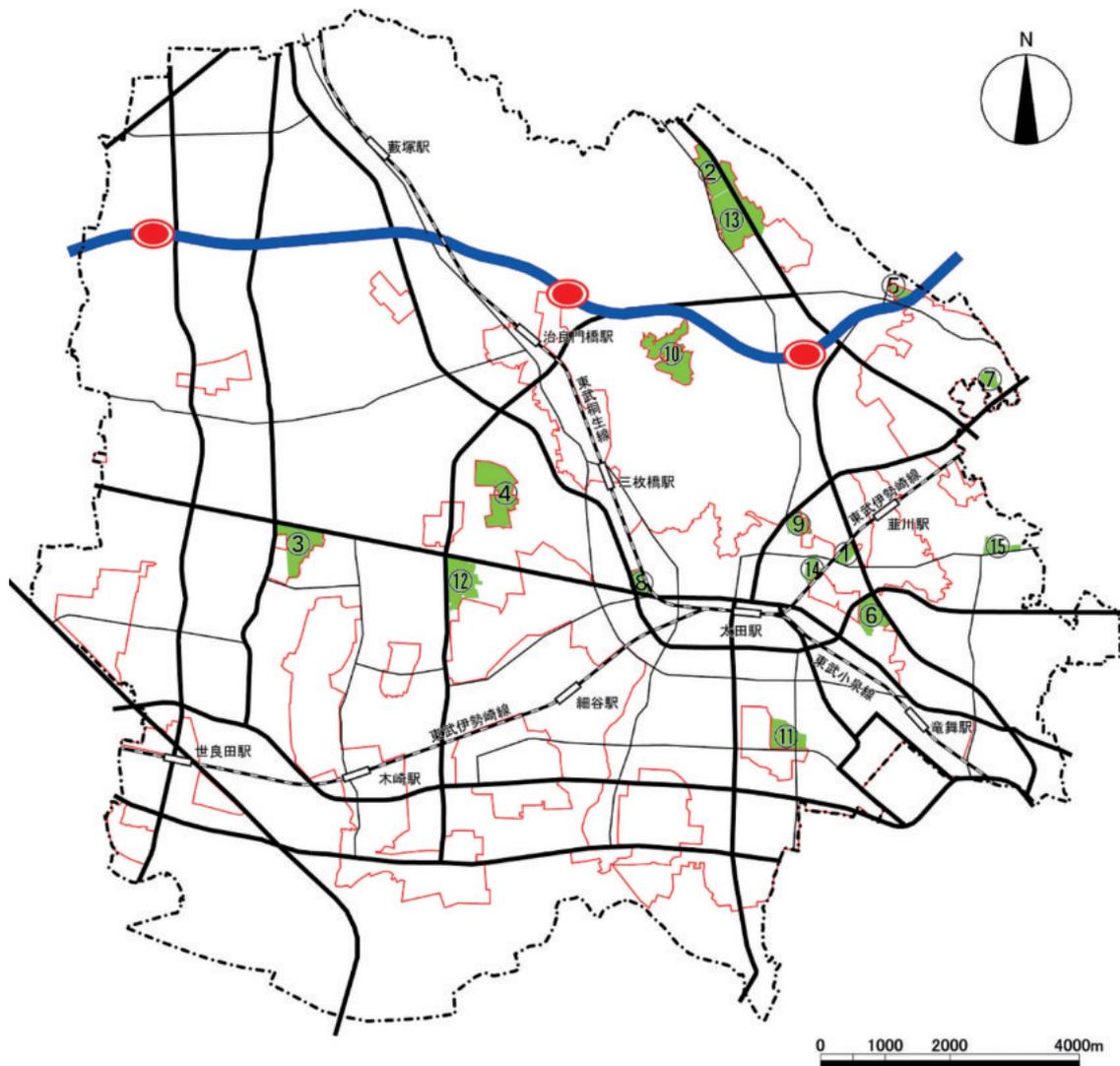
地区計画は、一体的に整備および保全を図るべき地区について、道路・公園などの配置・規模計画や、建築物の形態・用途・高さ・壁面位置・敷地の規模などを地区のきめ細かいルールとして、住民参加によって定めるものです。これは、開発行為・建築行為等を誘導・規制することにより、地区の特性にふさわしい態様を備えた良好な市街地の整備および保全する計画です。

表：太田市の地区計画（平成29年3月24日時点）

| 番号 | 地区名 | 当初決定 | 面積 [ha] | 用途地域 | 地区計画の目指すもの | 備考 |
|----|-----------|------------|------------|-----------------|---------------------|------------|
| 1 | 東長岡 | 平成6年7月1日 | 6.8 | 第1種住居 | 良好な住宅地としての市街地形成 | 東長岡住宅団地 |
| 2 | 吉沢 | 平成6年7月1日 | 20.1 | 準工業 | 良好な研究開発業務地としての市街地形成 | 太田リサーチパーク |
| 3 | 市野井反町 | 平成7年8月1日 | 33.8 | 商業 | 良好な商業団地としての市街地形成 | ジョイフルホンダほか |
| 4 | 城西町 | 平成11年8月24日 | 40.9 | 第1種低層住専 | 良好な住宅団地としての市街地形成 | パルタウン城西の杜 |
| | | | | 第2種中高層住専 | | |
| | | | | 準工業 | | |
| 5 | 八幡河原 | 平成11年8月24日 | 6.2 | 第1種住居 | 良好な住環境の形成 | リバータウン只上 |
| 6 | 石原町下小林町 | 平成11年8月24日 | 18.3 | 商業 | 良好な賑わいの場としての市街地形成 | イオンほか |
| 7 | 市場前原 | 平成17年3月28日 | 5.8 | 準工業 | 住宅・工場の適正配置の市街地形成 | 区画整理事業ほか |
| 8 | 大島 | 平成21年8月11日 | 9.9 | 第1種住居 | 良好な救急医療拠点としての市街地形成 | 太田記念病院 |
| 9 | 東長岡伊豆山 | 平成21年8月11日 | 10 | 第1種低層住専 | 良好な住宅団地としての市街地形成 | いずみニュータウン |
| | | | | 第1種住居 | | |
| 10 | 太田さくら工業団地 | 平成21年8月11日 | 41.2 | 工業専用 | 良好な産業業務地としての市街地形成 | 太田さくら工業団地 |
| 11 | 飯塚 | 平成21年8月11日 | 20.7 | 近隣商業 | 良好な生活拠点としての市街地形成 | ベシァモールほか |
| 12 | 別所脇屋 | 平成28年3月25日 | 30.7 | 市街化調整区域 | 良好な工業地としての市街地形成 | 別所工業団地ほか |
| 13 | 吉沢原宿 | 平成29年1月31日 | 57.3 | 工業専用地域 準工業地域 | 良好な産業団地としての市街地形成 | おた渡良瀬産業団地 |
| 14 | 東長岡西 | 平成29年1月31日 | 7.5 | 工業専用地域 準工業地域 | 良好な都市型工業地としての市街地形成 | 東長岡町 |
| 15 | 矢場工業団地 | 平成29年3月24日 | 9.2 | 市街化調整区域 | 良好な工業環境の維持、保全 | 矢場工業団地ほか |

（資料：太田市資料）

図：地区計画箇所図



| 凡 例 | | | |
|------|----------------|--|------------------|
| 基 本 | | | |
| | 高速道路 | | インターチェンジ |
| | 幹線道路(計画・構想を含む) | | 鉄道 |
| | 市街化区域 | | 主要幹線道路(計画・構想を含む) |
| 地区計画 | | | |
| | 地区計画 | | |